商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*…………03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX……………………………………0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

2655832030

Printed in Japan

SONY

2-655-832-03(1)

BRAVIA

操作・困ったときは編

別冊の「設置・接続編」もご覧ください。

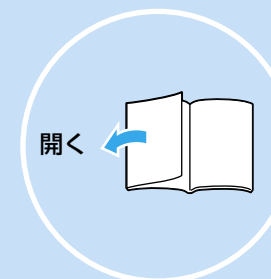
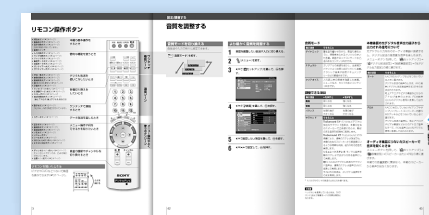
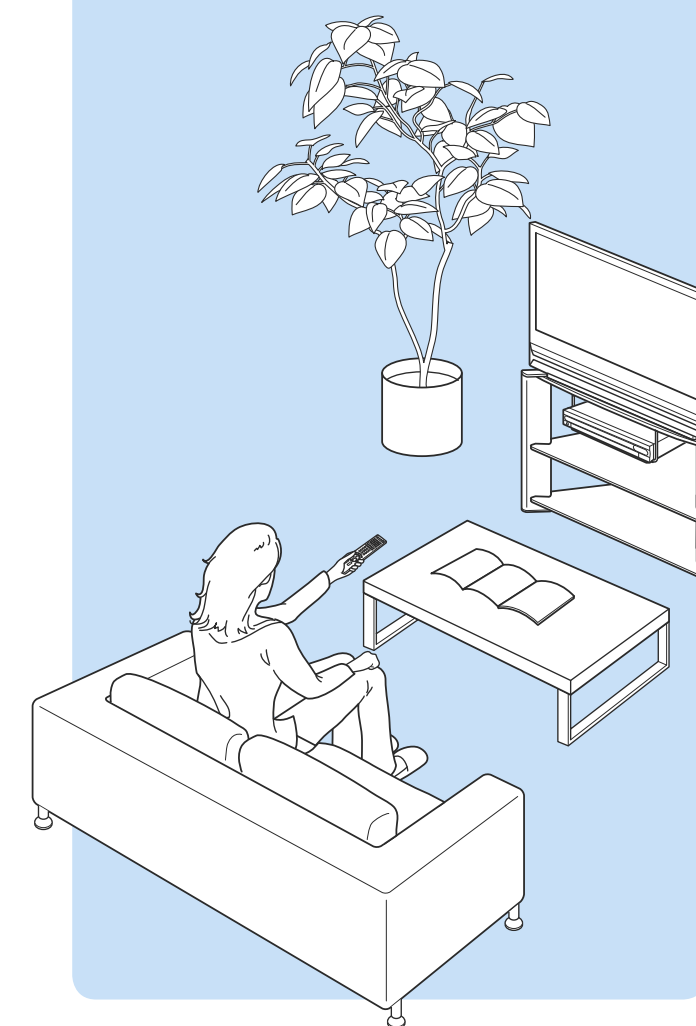
地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン
液晶プロジェクションテレビ
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「設置・接続編」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KDF-42E1000
KDF-50E1000

この取扱説明書の使いかた

まずこのページを開きます。

操作説明のページを開いて、リモコンのイラストを見ながら、操作する。

液晶プロジェクションテレビについて

光源用ランプについて

本機は光源としてランプを使用しています。
ランプは消耗品ですので、定期的な交換が必要です。

光源用ランプ交換時期の目安

ランプの交換時期の目安は、約8000時間です。
上記時間は、本機を常温にて通常使用した場合、画面の明るさが半減する時期の目安であり、ランプの交換時期はお客様の使用環境、使用条件によって異なります。
なお、上記時間は交換時期の目安であり、8000時間使用可能という保証ではありません。
ランプの交換時期が近づくと本機の電源を入れたときに、画面にランプ交換を促すメッセージが表示されます。
ランプが完全に切れてしまう前に、お近くのソニー商品取扱い販売店またはソニースタイルのホームページ（http://www.jp.sonystyle.com/Qnavi/visual.html）で、別売りランプユニットXL-2400を購入し、ランプ交換を行ってください（☞74ページ）。

ランプ交換後は必ず、「ランプ設定」を行ってください。次のランプ交換時期をお知らせするために必要な設定です（☞50ページ）。
また、本機はランプが完全に切れると本機前面の「通信/タイマー/ランプ」ランプが赤く点滅します。

光源用ランプ交換の際の注意点

ランプを交換する前に必ず本機の電源を切り、冷却用のファンが止まってから電源プラグを抜いてください。
電源を切り冷却用のファンが止まっても、しばらくはランプが非常に熱いので、30分以上たってからランプ交換を行ってください。なお、30分以上たってもまだ熱い場合があります。触るとやけどの原因になりますので、ランプが充分冷えてからランプ交換を行ってください。また、ランプ交換は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

使用上のご注意

本機は光源としてランプを使用しています。
電源を入れてから映像が出るまで多少時間がかかります（約30秒）。
なお、電源を切るときは必ず本体またはリモコンの電源スイッチで電源を切ってください。電源を切ったあとも2分間は冷却用のファンが働いています。電源プラグを抜くときや、ブレーカーを切るときは本体の電源スイッチで電源を切って数分たってから行ってください。

リモコン操作ボタン

本機の基本操作をするとき
- 消音ボタン(☞24ページ)
- 画面表示ボタン(☞25ページ)
- 音声切換ボタン(☞24ページ)
  凸点(突起)が付いています。
- 電源スイッチ

便利な機能を使うとき
- 入力切換ボタン(☞36ページ)
- ワイド切換ボタン(☞44ページ)
- ジャンプボタン(☞24ページ)
- 画質モードボタン(☞40ページ)
- 音質モードボタン(☞42ページ)
- オンタイマーボタン(☞46ページ)
- オフタイマーボタン(☞46ページ)

デジタル放送を使いこなしたいとき
- 予約一覧ボタン(☞32ページ)
- 映像切換ボタン(☞24ページ)
- 番組検索ボタン(☞18ページ)
- 他CHリストボタン(☞20ページ)
- 字幕ボタン(☞24ページ)

各種切り換えをしたいとき
- ラジオ/データボタン(☞15ページ)
- d(連動データ)ボタン(☞15ページ)
- 10キーボタン(☞13ページ)
- 放送切換用ボタン(☞12ページ)
  (地上アナログ/地上デジタル/BS/CS)

ワンタッチで選局するとき
- 数字ボタン(☞12ページ)
  「5」のみ、凸点(突起)が付いています。

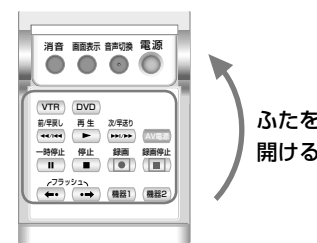
データ放送を楽しむとき
- カラーボタン(☞15ページ)

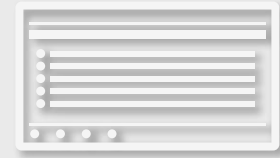
メニュー操作や何をできるかを知りたいとき
- 戻るボタン(☞4ページ)
- 番組表ボタン(☞16ページ)
- 番組説明ボタン(☞21ページ)
- メモボタン(☞25ページ)
- メニューボタン
- ツールボタン(☞4ページ)
- WEGA GATEボタン(☞10ページ)
- ↑/↓/←/→/決定ボタン(☞4ページ)

音量の調節やチャンネルを切り換えるとき
- チャンネル+/−ボタン(☞12ページ)
  チャンネル+ボタンのみ、凸点(突起)が付いています。
- 音量+/−ボタン(☞24ページ)

リモコンを開いたときは

ビデオやDVDなどつないだ機器を操作できます(☞37ページ)。

ワンタッチ機能ゾーン

押すだけで使えるボタン

画面で見たい番組が簡単に探せるよ！

消し忘れて寝てしまってもだいじょうぶ！目覚ましがわりにも、使えるね。

選局ゾーン

放送を選ぶ

地上アナログや地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの中で見たい放送に切り換えます。

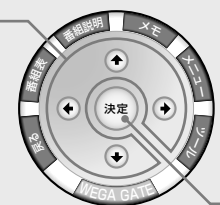
チャンネルを選ぶ

チャンネルを切り換えるには次の方法があります。
- **ワンタッチ選局**
  1つの数字ボタンを押すだけで、その数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換わります。
- **10キー選局**[*1]
  10キーボタンを押してから数字ボタンの組み合わせでチャンネル番号を入力します。

チャンネル+/−ボタンで順送りに切り換えることもできます。

メニュー操作やよく使うボタンゾーン

メニューやWEGA GATE〈ベガゲート〉を操作する

↑/↓/←/→でメニューやWEGA GATEの項目を選ぶ

決定ボタンを押して、決定する

番組表や番組説明を見る

デジタル放送を視聴中に番組表ボタンを押すと、放送中の番組やこれから放送される番組を一覧表示します。
番組を選んで、録画予約したり番組説明を見たりできます。

デジタル放送を視聴中に番組説明ボタンを押すと、視聴中の番組の詳しい情報を見ることができます。

テレビを見ながらできる便利な機能

ツールボタンを押すと、そのときできる便利な機能を表示します。表示されたできることを選べば、通常の手順より早く操作できます。
この取扱説明書では、ツールからできることを、以下のマークで紹介しています。

ツールでできること…

操作(メニューなど)画面を表示しているときに、戻るボタンを押すと、**1つ前の画面に戻れます。**

*1 地上アナログのときは、10キーボタンは使えません。
地上アナログで10キー選局するには、メニューの「選局」を「10キー」にしてください(☞12ページ)。

な行
ナチュラル(映像) 41
ナチュラル(音声) 43
入力切換 36
入力切換ボタン 80
入力スキップ 49
ノーマル 44

は行
ハードディスクレコーダー 39
パソコン(PC)入力設定 52
発呼履歴一覧 23
バランス 43
パワーマネジメント 52
番組情報取得 17
番組説明 21
番組表 16
番組表から録画 30
番組を探す 16, 18
光デジタル出力設定 43
ピクチャー 41
ピッチ 52
ビデオ 39
ビデオ出力設定 50
ビデオラベル 48
フェーズ 52
ブックマーク一覧 23
フル 44
ブルーレイディスクレコーダー 39
プレビュー 25
ペイ・パー・ビュー(有料番組) 25
ペイパービュー購入履歴 23
ベガゲート 10
ボード(CS1デジタル) 22
ボード(CS2デジタル) 22
保証書 77
本機からのメール 22

ま行
マルチチャンネル放送 55
マルチビュー放送 55
無操作電源オフ 47
メール 22
メニュー(困ったときは) 69
メモ 25
文字スーパー 24
モノラル 56

や行
有料番組 25
予約一覧 32
予約確認
　重複 33
　保護 33

ら行
ラジオ/データボタン 80
ラジオ放送 15
ランプ交換 74
ランプ設定 50
リモコン 82
リモコン(困ったときは) 69
リモコンコード 39
リモコン受光部 80
録画・予約する 30
録画制限 57
録画有料番組 31
録画予約(困ったときは) 67

わ行
ワイド切換 44
ワイドズーム 44
ワンタッチ機能ゾーン 3

数字・アルファベット

数字
10キー選局 12, 13, 14
110度CS(CS1、CS2) 14
1125i(1080i) 56
5.1chサラウンド 43
525i(480i) 56
525p(480p) 56
750p(720p) 56

アルファベット
AAC 79
AVアンプ 39
AVマウス録画 29
B-CASカード 54
BSデジタル 14, 54
CGゲームモード 50
DRC-MFモード切換 41
DVDプレーヤー 39
DVDレコーダー 39
H(ハイパー)ホワイト 41
HDモード 51
NR(ノイズリダクション) 41
PCM 43, 79
PC入力設定 52
PC入力対応信号表 53
PPV(ペイパービュー) 25
S2映像 50, 79
S映像 79
TruSurround(トゥルーサラウンド) 43
WEGA GATE〈ベガゲート〉 10

本機の便利な機能いろいろ

メモ(☞25ページ)

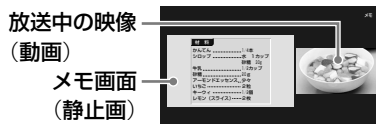
料理番組のレシピなどちょっと画面を止めて見たいときに、メモボタンを押すと、静止画になりゆっくり確認できます。

放送中の映像（動画）
メモ画面（静止画）

ビデオラベル*4/入力スキップ*4(☞48～49ページ)

ビデオやDVDをつないだ入力端子に名前を付けて、わかりやすく表示できます(ビデオラベル)。
また、入力切換ボタンを押したときに、機器をつないでいる入力にのみ切り換わるように設定できます(入力スキップ)。

ビデオラベルの例

ビデオ3 ➡ ビデオ3 DVD

チャンネルポン*2/消音ポン*2(☞24ページ)

リモコンの電源スイッチ以外のボタンでも電源を入れられます。
数字ボタン:同時にチャンネルも切り換わります。
消音ボタン:消音状態で電源が入り、いきなりの大音量に驚かされることなく、そっと電源を入れられます。
他にも、チャンネル+/－ボタン、地上アナログ/地上デジタル/BS/CSボタンでも電源を入れられます。

オンタイマー*3/オフタイマー(☞46ページ)

時刻を設定しておけば、自動で電源が入ります(オンタイマー)。
見たい番組を逃さず見たり、朝の目覚まし時計のかわりにもなります。
また、設定した時間が経過すると、自動で電源が切れます(オフタイマー)。
テレビを見ながら、うとうとしてしまっても大丈夫です。

サイレンススタート*3(☞48ページ)

電源を入れたとき、はじめは小さい音で徐々に音量を上げる機能です。

クリアボイス(☞42ページ)

トーク番組やニュースなどセリフの多い番組で、人の声が聞き取りやすくなります。
音質モードボタンをくり返し押して、「クリアボイス」を表示させます。

省電力対応(☞46ページ)

本機には省電力のための様々な機能があります。
無操作電源オフ*4:一定時間操作をしないと、自動で電源を切ります。
オートシャットオフ:放送が終了して信号を受信しなくなると、自動で電源を切ります(地上アナログ視聴中のみ)。

画面表示/時計表示*3(☞25ページ)

画面表示ボタンを押すと、本機の状態を確認できます。
1度押すと画面表示が出て、もう1度押すと時刻が表示されます。

PC入力対応(☞36ページ)

本機のPC入力端子(RGB、音声)にパソコンなどをつないで、本機の画面でパソコン操作ができます。

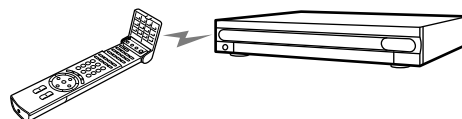
HDMI入力対応(☞36ページ)

本機のHDMI入力端子にDVDなどをつないで、高品質な映像でお楽しみいただけます。

他チャンネルリスト(☞20ページ)

デジタル放送を見ているときに、他CHリストボタンを押すと、他のチャンネルでどんな番組を放送しているかをチェックできます。

本機のリモコンでビデオやDVD操作が可能*4(☞37ページ)

あらかじめリモコンコードを登録しておけば、ビデオやDVDの基本的な操作が、本機のリモコンでできます。

*2 電源スタンバイ時のみ。
*3 デジタル放送受信時のみ。
*4 あらかじめ、メニューで設定しておく必要があります。

目次　操作・困ったときは編

この取扱説明書の使いかた …… 2

液晶プロジェクションテレビについて …… 2

リモコン操作ボタン …… 3

本機の便利な機能いろいろ …… 5

WEGA GATE〈ベガゲート〉 …… 10

WEGA GATE〈ベガゲート〉を使う …… 10

テレビを見る …… 12

地上アナログ放送を見る …… 12

地上デジタル放送を見る …… 13

BSデジタル・110度CS(CS1、CS2)デジタル放送を見る …… 14

ラジオ/データ放送を楽しむ …… 15

番組表で見たい番組を探す
［チャンネル別番組表］/［時刻別番組表］ …… 16

番組検索で見たい番組を探す
［ジャンル検索］/［キーワード検索］ …… 18

他チャンネルリストで番組をチェックする …… 20

番組説明を見る …… 21

お知らせを見る …… 22

デジタル放送からのメールを見る …… 22
本機からのメールを見る …… 22
放送局からのお知らせを見る …… 22
ペイパービュー(有料番組)の
購入概算額を見る …… 23
お気に入りのデータ放送を見る
［ブックマーク］ …… 23
放送局へ情報を送る［登録発呼］ …… 23

この取扱説明書に記載されている番組表や番組説明などに表示されている番組はフィクションであり、
実際の放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

その他の機能 …… 24
消音で電源を入れる[消音ポン] …… 24
チャンネルボタンで電源を入れる[チャンネルポン] …… 24
直前に見ていたチャンネルに戻す[ジャンプ] …… 24
映像や音声を切り換える …… 24
字幕放送を見る …… 24
画面表示/時計表示を見る …… 25
画面をメモする …… 25
ペイパービュー(有料番組)を見る …… 25
順送りで選べるチャンネルを変更する[シームレス選局] …… 26
文字を入力する[ソフトウェアキーボード] …… 26

番組を録画・予約する …… 29

本機での録画について …… 29

録画・予約する[いますぐ録画]/[番組表から録画]/[時間指定予約] …… 30

録画予約の内容を確認/修正/削除する[予約一覧] …… 32
予約を確認する …… 32
予約を修正する …… 32
予約を削除する …… 33
重複している予約はどうなるの? …… 33

録画予約が実行されたかを確認する …… 35

本機につないだ機器の映像を見る …… 36

つないだ機器の映像を見る …… 36

本機のリモコンでつないだ機器を操作する …… 37
本機につないだ機器を登録する …… 37
本機のリモコンでつないだ機器を操作する …… 38

設定/調整する …… 40

画質を調整する …… 40
画質モードを切り換える …… 40
より細かく画質を調整する …… 40

音質を調整する …… 42
音質モードを切り換える …… 42
より細かく音質を調整する …… 42

画面モードの設定をする ………………………… 44

画面モードを手動で切り換える［ワイド切換］……………………………………44
画面モードの自動切換を設定する［オートワイド］…………………………………44
オートワイドの働きかた…………………………45

タイマーの設定をする ………………………… 46

オフタイマーを設定する…………………………46
オンタイマーを設定する…………………………46
無操作時に電源を切る［無操作電源オフ］………47
オートシャットオフ………………………………47

各種設定をする ………………………… 48

電源を入れたときに静かな音で始まるようにする［サイレンススタート］…………………………48
入力切換時に接続機器名を表示させる［ビデオラベル］…………………………………48
機器をつないでいない入力をとばす［入力スキップ］…………………………………49
高地で使う［高地モード］…………………………49
光源用ランプ交換の設定をする［ランプ設定］……………………………………50

パソコン（PC）入力の設定をする …………………………………………… 52

※受信設定については「設置・接続編」をご覧ください。

各種情報について ………… 54

デジタル放送について …………………………………………… 54

録画制限と著作権保護について …………………………………………… 57

困ったときは ………… 58

修理に出す前に …………………………………………… 58

映像 …………………………………………… 59

音声 …………………………………………… 62

デジタル放送 …………………………………………… 63

録画予約 …………………………………………… 67

メニューやリモコン 69
電源スタンバイ中のランプの点灯・点滅について 71
展示モードの表示について 71

その他 72

ダウンロードの流れについて 72
光源用ランプを交換する 74
保証書とアフターサービス 77
用語集 78
各部の名前 80
索引 84

別冊「設置・接続編」の目次

安全のために
使用上のご注意
安全点検チェックリスト

はじめにお読みください
付属品を確かめる
本機を設置する・
転倒防止の措置をする
準備の前に

テレビの接続
準備1：B-CASカード
（デジタル放送用ICカード）を
入れて登録する
準備2：地上波アンテナをつなぐ
準備3：衛星（BS・110度CSデジタル）
アンテナをつなぐ
準備4：電話回線につなぐ

受信設定
準備5：お買い上げ時の初期設定
（かんたん設定）をする
準備6：地上アナログ放送の
設定をする
準備7：地上アナログ放送の
チャンネル設定をする
準備8：地上デジタル放送の
設定をする
準備9：地上デジタル放送の
チャンネル設定をする
準備10：BS・110度CS（CS1、CS2）
デジタル放送の設定をする
準備11：BS・110度CS（CS1、CS2）
デジタル放送のチャンネル設定
をする
準備12：各放送局に視聴を申し込む
準備13：電話回線を設定する
準備完了？チェックリスト

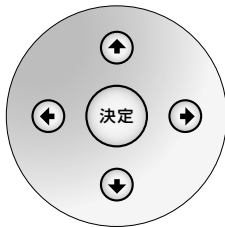
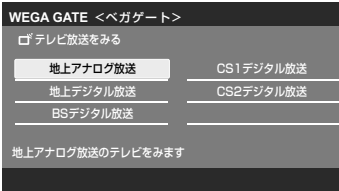
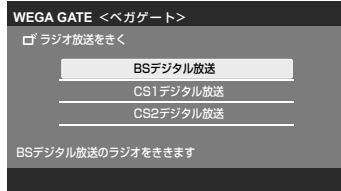
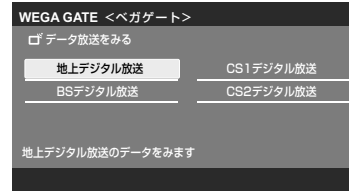
その他の設定
データ放送のためのネットワーク
を設定する
視聴年齢制限を設定する・個人情報
を消去する

他機との接続
本機で再生するための接続
録画するための接続
オーディオ機器をつなぐ
パソコン（PC）をつなぐ

その他
地上デジタル放送・地域別チャンネル
割り当て一覧表
保証書とアフターサービス
主な仕様
用語集
接続端子の名前とはたらき
索引

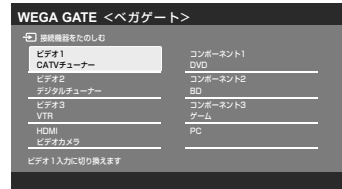
WEGA GATE〈ベガゲート〉を使う

本機を楽しむための基本的な操作を一覧表示

いろいろな放送を見る、聞く、番組を録画する、ビデオやDVDを見るなど、本機の基本の操作を目的別にナビゲートします。

いろいろな放送を楽しむ

各デジタル放送と地上アナログ放送のテレビ放送を楽しめます。

BSデジタル放送と110度CS(CS1、CS2)デジタル放送のラジオ放送を楽しめます。

各デジタル放送のデータ放送を楽しめます。

WEGA GATE <ベガゲート>

テレビ放送をみる
ラジオ放送をきく
データ放送をみる
録画する
接続機器をたのしむ

アナログやデジタルのテレビ放送をみます

ビデオやDVDを見る

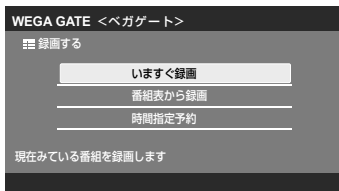
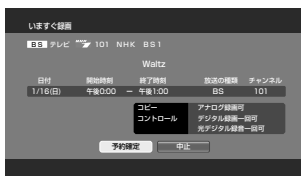
見たい機器を選んで、(決定)を押す。

選んだ入力に切り換わり、再生映像を楽しめます。

あらかじめ、本機とビデオやDVDをつないでおいてください(☞「設置･接続編」の「本機で再生するための接続」)。

ビデオラベルを設定しているときは

設定した名称が表示されます(☞48ページ)。

番組を録画する

録画方法を選んで、(決定)を押す。

いますぐ録画(☞30ページ)
見ている番組をすぐ録画します。

番組表から録画(☞30ページ)
番組を選び、簡単に録画予約します。

時間指定予約(☞30ページ)
日時やチャンネルを指定して録画予約します。

地上アナログ放送を見る

1 地上アナログ放送を選ぶ。

2 チャンネルを選ぶ。

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

数字ボタンでチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えられます。

例:48ch
④→⑧→⑫/選局

あらかじめ、メニューの「選局」を「10キー」にしてください。
「セットアップ」→「アナログ放送設定」→「選局」→「10キー」の順に選びます。

ツールでできること…

● 地上アナログ視聴中

項目	できること
時刻情報取得	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。時計表示（☞25ページ）やオンタイマー（☞46ページ）を使うために必要です。

ご注意

- はじめて選局するときは、あらかじめチャンネルスキャンをしておいてください（☞「設置・接続編」の「準備6：地上アナログ放送の設定をする」）。
- お買い上げ時はワンタッチ選局（ダイレクト）ができるようになっています。チャンネル番号で選局するには、あらかじめメニューの「選局」を「10キー」にしてください。

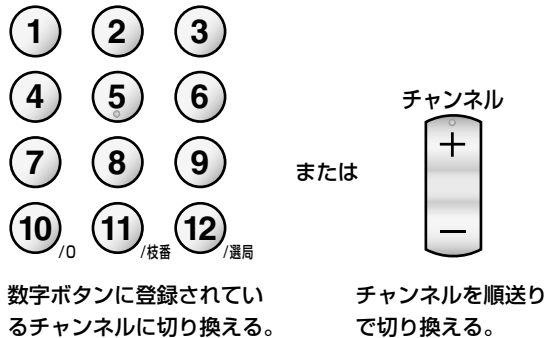
地上デジタル放送を見る

B-CASカードが本機に挿入されているかを確認してください（☞「設置・接続編」の「準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を入れて登録する」）。

1 地上デジタル放送を選ぶ。

2 チャンネルを選ぶ。

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えます。メニューでの設定などは必要ありません。

例：011ch

10キー→⑩→①→①→⑫

枝番が付いているチャンネルを10キー選局するには

例：1012ch

10キー→①→⑩→①→⑪→②→⑫

ご注意

- はじめて地上デジタル放送を選局するときは、あらかじめチャンネルスキャンを行ってください（☞「設置・接続編」の「準備5：お買い上げ時の初期設定（かんたん設定）をする」または「準備8：地上デジタル放送の設定をする」）。
- 地上デジタル放送が開始されていない地域では、放送開始後にかんたん設定（☞「設置・接続編」の「準備5：お買い上げ時の初期設定（かんたん設定）をする」）を行ってください。

BSデジタル・110度CS（CS1、CS2）デジタル放送を見る

B-CASカードが本機に挿入されているかを確認してください（☞「設置・接続編」の「準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を入れて登録する」）。

1 見たい放送を選ぶ。

BS：BSデジタル放送

CS：110度CS（CS1、CS2）デジタル放送
押すたびに下記のように切り換わります。
CS1←→CS2

2 チャンネルを選ぶ。

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

または

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えます。メニューでの設定などは必要ありません。

例：102ch
10キー→①→⑩/0→②→⑫/選局

ラジオ/データ放送を楽しむ

デジタル放送にはテレビ放送以外に、ラジオ放送とデータ放送があります。

ラジオ放送*

画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。

データ放送

データ放送では、様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめます。データ放送は、以下の2種類があります。

独立データ

データのみを専門に扱っている放送サービスです。

連動データ

デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる放送サービスです。d（連動データ）ボタンで切り換えます。

1 視聴したいデジタル放送を選ぶ。

地上デジタル放送　BSデジタル放送　110度CS（CS1、CS2）デジタル放送

2 （ラジオ/データ）を押して、ラジオ放送またはデータ放送に切り換える。

押すたびに下記のように切り換わります。

テレビ→ラジオ*→独立データ

3 チャンネル＋/－ボタンまたは10キー選局で、チャンネルを選ぶ。

データ放送ではリモコンのボタンで項目を選んだり、数値を入力したりできます。画面の指示に従って操作してください。

ツールでできること…

● デジタル放送視聴中

項目	できること
いますぐ録画/録画停止	予約設定画面を表示します（☞30ページ）。 録画実行中は録画を停止できます。
予約一覧	予約一覧を表示します（☞32ページ）。
他チャンネルリスト	他チャンネルリストを表示します（☞20ページ）。
番組検索	ジャンル検索またはキーワード検索を表示します（☞18ページ）。
ダイヤルアップ切断	データ放送で通信中にのみ表示され、選べます。 通信を切断します。

ちょっと一言

- データ放送をお楽しみいただくには、あらかじめ電話回線の接続と設定を行ってください（☞「設置･接続編」の「準備4：電話回線につなぐ」と「準備13：電話回線を設定する」）。
- データ放送では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（「通信/タイマー/ランプ」ランプがオレンジ色に点滅）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。

* 地上デジタルにはラジオ放送はありません。

番組表で見たい番組を探す

[チャンネル別番組表]/[時刻別番組表]

地上デジタル、BSデジタル、110度CS(CS1、CS2)デジタルの放送ごとに、放送局が送信する番組情報を元に、番組表を約1週間先まで見ることができます。

デジタル放送視聴中に、(番組表)を押す。

見ている放送の、前回表示されていた番組表(チャンネル別番組表または時刻別番組表)が表示されます。

チャンネル別番組表

例:BSデジタルの番組表

黄で
切り換え

時刻別番組表

例:BSデジタルの番組表

番組説明を見るには

↑/↓で番組を選んで、(決定)を押します。

番組説明について、詳しくは「番組説明を見る」(☞21ページ)をご覧ください。

カラーボタンでできること

番組表を表示中にリモコンのカラーボタンで下記の操作ができます。

(青):前日へ切り換えます。

(赤):翌日へ切り換えます。

(緑):番組表の放送(地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル)を切り換えます。

(黄):チャンネル別番組表と時刻別番組表を切り換えます。

A 番組の状況欄

●(赤): 録画実行中の番組
◷: 録画予約した番組(☞30ページ)
▯(白): 予約が重なっている番組
▮(赤): 録画実行中の番組と重なっている番組。

B 番組一覧

チャンネル別番組表では放送日時と番組名が、時刻別番組表ではチャンネルと放送時間、番組名が表示されます。
現在の時間は青く表示されます。
⬆/⬇で番組を選び(決定)を押すと、番組説明(☞21ページ)が表示されます。

C チャンネル表示欄

現在、番組表に表示中のチャンネル。
⬅/➡で、番組表に表示したいチャンネルを選べます。

D 放送と放送サービス

デジタル放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル)と放送サービスの種類(テレビ、ラジオ、データ)。

E ⬆/⬇で選んだ番組の情報

F 操作ガイド表示欄

番組表を表示中にリモコンでできる操作をガイド表示します。
(青):前日へ切り換えます。
(赤):翌日へ切り換えます。
(緑):番組表の放送(地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル)を切り換えます。
(黄):チャンネル別番組表と時刻別番組表を切り換えます。
決定:番組説明を表示します。
ツール:ツールを表示します。
戻る:番組表を消します。

G リモコンの数字ボタン① ~ ⑫

ワンタッチで選局できます。

H 時間帯表示欄

現在、番組表に表示中の日付と時間帯。
⬅/➡で、番組表に表示したい時間帯を1時間ごとに選べます。

マークの意味

字 :字幕放送(☞24ページ)
d :テレビやラジオと連動しているデータ放送(☞15ページ)
MV :マルチビュー放送(☞55ページ)
HD :デジタルハイビジョン信号HD(☞56ページ)
SD :標準テレビ信号SD(☞56ページ)
R🔒 :視聴年齢制限付き番組(☞「設置・接続編」の「視聴年齢制限を設定する・個人情報を消去する」→「暗証番号や視聴年齢制限を設定する」)
¥ :ペイパービューなど有料番組(☞25ページ)
シリーズ :野球中継や季節ごとの番組(毎週/毎回に属さないもの)

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があり、番組名の左側に表示されます。以下はその一例です。

二 :二か国語放送(☞56ページ)
S :ステレオ放送(☞56ページ)
字 :字幕放送(☞24ページ)
B :圧縮Bモード放送(☞56ページ)
N :ニュース番組

ツールでできること…

● 番組表表示中

項目	できること
選局*1、*4	選局します。
いますぐ録画/録画停止*1	予約設定画面を表示します(☞30ページ)。録画実行中は録画を停止します。
録画予約/予約削除*2	予約設定画面を表示します(☞30ページ)。すでに予約してあるときは予約を削除できます。
予約一覧	予約一覧を表示します(☞32ページ)。
テレビ/ラジオ/データ切換*3	番組表の放送サービス(テレビ・ラジオ・データ)を切り換えます。
番組情報取得*4	番組表で表示中の放送の番組情報をデータ取得します。

*1 放送中の番組を選んだときにのみ表示されます。
*2 放送開始前の番組を選んだときにのみ表示されます。
録画実行中は「録画予約」は表示されません。
*3 地上デジタルの番組表を表示中は「ラジオ切換」は表示されません。
*4 録画実行中は表示されません。

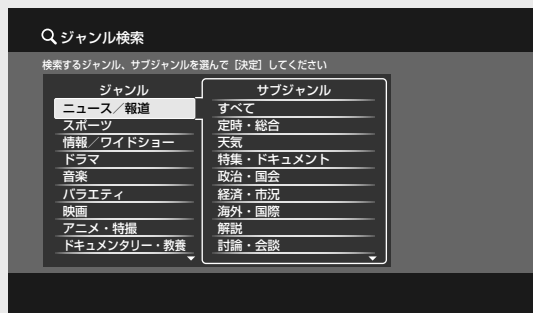
番組検索で見たい番組を探す

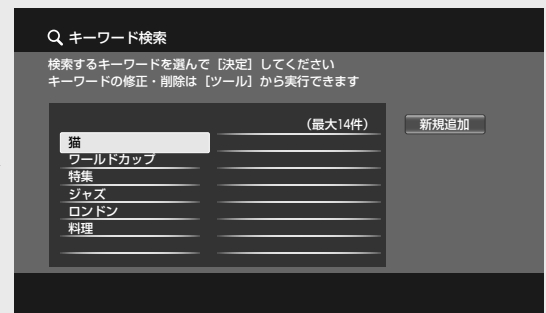
［ジャンル検索］/［キーワード検索］

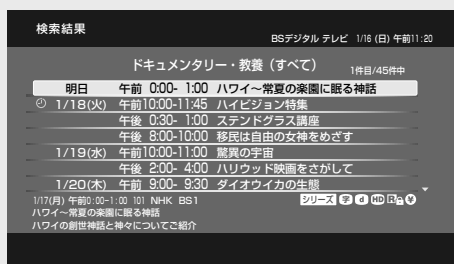
ジャンルやキーワードを指定して、最大200件までの番組を探すことができます。
キーワード検索では、新規にキーワードを登録したり、登録したキーワードから検索できます。なお、キーワード検索は番組説明の「番組概要」(☞21ページ)にキーワードが含まれている番組を検索するので、文字が完全に一致しないと検索できません。

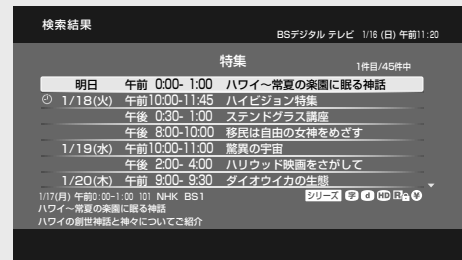
1 **デジタル放送視聴中に、番組検索(番組検索)を押す。**

前回表示されていた検索(ジャンル検索またはキーワード検索)が表示されます。

ジャンル検索

キーワード検索

2 **↑/↓でジャンルを選んで、決定を押す。**

3 **↑/↓でサブジャンルを選んで、決定を押す。**

選んだサブジャンルの番組が開始時刻順に表示されます。

2 **↑/↓/←/→でキーワードを選んで、決定を押す。**

選んだキーワードを含む番組が開始時刻順に表示されます。

新たにキーワードを追加するには

1 **番組検索ボタンを押す。**

キーワード検索が表示されないときは、黄ボタンを押してください。

2 **↑/↓/←/→で「新規追加」を選んで、(決定)を押す。**

ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 **ソフトウェアキーボードでキーワードを入力する**（☞26ページ）。

キーワードは最大で12文字まで入力できます。

キーワードは全部で14件まで登録できます。

キーワードの入力が終了するとキーワード検索に戻り、新しいキーワードが表示されます。

ツールでできること…

● キーワード検索表示中

項目	できること
新規追加	新しいキーワードを追加できます。
修正	選んでいるキーワードを修正できます。
削除	選んでいるキーワードを削除します。

● 検索結果表示中

項目	できること
選局*1	選局します。
いますぐ録画/録画停止*1	予約設定画面を表示します（☞30ページ）。録画実行中は録画を停止します。
録画予約/予約削除*2	予約設定画面を表示します（☞30ページ）。すでに予約してあるときは予約を削除できます。
予約一覧	予約一覧を表示します（☞32ページ）。

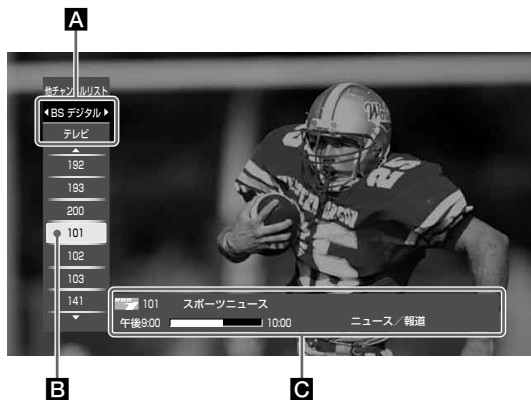
*1 放送中の番組を選んだときにのみ表示されます。

*2 放送開始前の番組を選んだときにのみ表示されます。録画実行中は「録画予約」は表示されません。

テレビを見る

他チャンネルリストで番組をチェックする

デジタル放送を視聴中に、他のチャンネルで放送中の番組を確認できます。

デジタル放送視聴中に、 他CHリスト（他CHリスト）を押す。
他チャンネルリストが表示されます。

A 他チャンネルリストで表示中の放送と放送サービス
←/→で放送を切り換えられます。

B 選んでいるチャンネル
↑/↓でチャンネルをスクロールできます。
決定を押すと、選んだチャンネルの画面になります。

C 選んでいるチャンネルで放送中の番組の情報
番組名、チャンネル、放送時間、ジャンルなどが表示されます。

ツールでできること…

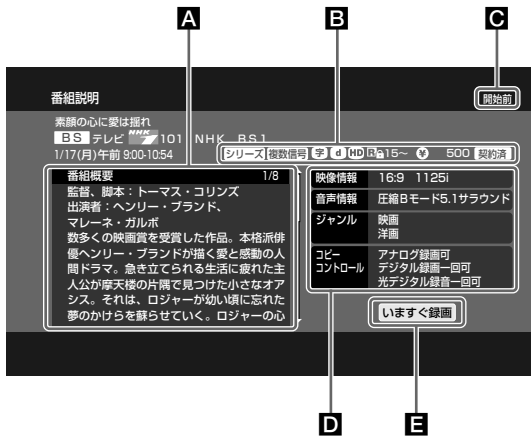
● **他チャンネルリスト表示中**

項目	できること
テレビ/ラジオ/データ切換*	他チャンネルリストの放送サービス（テレビ・ラジオ・データ）を切り換えます。
番組情報取得	他チャンネルリストで表示中の放送の番組情報をデータ取得します。
番組表のチャンネル登録	他チャンネルリストに表示するチャンネルを登録します（☞「設置・接続編」の「準備9：地上デジタル放送のチャンネル設定をする」と「準備11：BS・110度CS（CS1、CS2）デジタル放送のチャンネル設定をする」）。 「番組表」チェック欄に✓が付いているチャンネルが、他チャンネルリストに表示されます。

* 地上デジタルの他チャンネルリストを表示中は「ラジオ切換」は表示されません。

番組説明を見る

デジタル放送視聴中に、（番組説明）を押す。

視聴中の番組の番組説明が表示されます。

A 番組内容表示欄
「1/8」は8ページ中の1ページ目の意味です。
キーワード検索（☞18ページ）は「番組概要」に含まれる言葉からキーワードを検索します。

B マーク（☞「**マークの意味**」）

C 番組の状況
「開始前」や「終了」など

D 番組情報欄
「**映像情報**」（☞56ページ）、「**音声情報**」（☞56ページ）、「**ジャンル**」（☞18ページ）、「**コピーコントロール**」（録画や録音についての情報☞57ページ）が表示されます。

E 「いますぐ録画」/「録画停止」
予約設定画面を表示します（☞30ページ）。また、番組説明に表示されている番組の録画実行中は録画を停止できます。

番組表から番組説明を表示したときは、下記の項目も表示されます。

放送中の番組のとき
「**選局**」:選局します。

放送開始前の番組のとき
「**録画予約**」/「**予約削除**」/「**予約修正**」:予約設定画面を表示します（☞30ページ）。また、予約済みの番組のときは、予約を修正したり、削除できます（☞32、33ページ）。

マークの意味

- 字 ：字幕放送（☞24ページ）
- d ：テレビやラジオと連動しているデータ放送（☞15ページ）
- MV ：マルチビュー放送（☞55ページ）
- HD ：デジタルハイビジョン信号HD（☞56ページ）
- SD ：標準テレビ信号SD（☞56ページ）
- R ：視聴年齢制限付き番組（☞「設置·接続編」の「視聴年齢制限を設定する·個人情報を消去する」→「暗証番号や視聴年齢制限を設定する」）
- ¥ ：ペイパービューなど有料番組（☞25ページ）
- シリーズ ：野球中継や季節ごとの番組（毎週/毎回に属さないもの）
- 複数信号 ：第2映像など複数の映像/音声信号がある番組
- 契約済/未契約 ：放送事業者との契約が済んでいるかどうか（☞「設置·接続編」の「準備12:各放送局に視聴を申し込む」）

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があり、番組名の左側に表示されます。以下はその一例です。

- 二 ：二か国語放送（☞56ページ）
- S ：ステレオ放送（☞56ページ）
- 字 ：字幕放送（☞24ページ）
- B ：圧縮Bモード放送（☞56ページ）
- N ：ニュース番組

信号表示を見るには

番組説明を表示中に緑ボタンを押す。

番組説明に表示されている番組が持っている映像信号や音声信号を見ることができます。

放送開始前の番組の番組説明を見るには

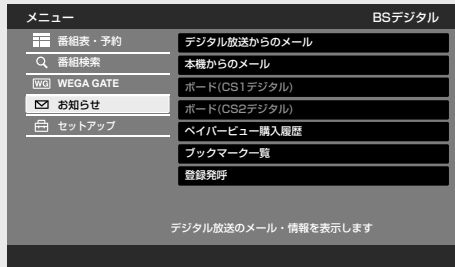
1 番組表ボタンを押す。
番組表が表示されます。

2 ↑/↓で番組を選んで、（決定）を押す。
選んだ番組の番組説明が表示されます。

番組表について詳しくは、「番組表で見たい番組を探す［チャンネル別番組表］/［時刻別番組表］」（☞16ページ）をご覧ください。

お知らせを見る

1 デジタル放送視聴中に、（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「お知らせ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で見たい項目を選んで、決定を押す。

メールマークの意味

(既読)：すでに読んだメール
(未読)：まだ読んでいないメール

(黄色)：本機からのメール
地上D(青色)：地上デジタルからのメール
BS(緑色)：BSデジタルからのメール
CS1(ピンク色)：CS1デジタルからのメール
CS2(ピンク色)：CS2デジタルからのメール

メールはお客様自身で削除できません。

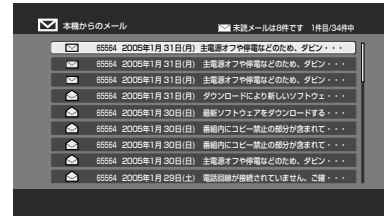
デジタル放送からのメールを見る

「デジタル放送からのメール」を選ぶ。

放送局からお客様へのお知らせ(メール)を見ることができます。
未読のメールがあるときは本体の電源スイッチで主電源を入れたときに、画面右下にが表示されます。

本機からのメールを見る

「本機からのメール」を選ぶ。

ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
未読のメールがあるときは本体の電源スイッチで主電源を入れたときに、画面右下にが表示されます。

放送局からのお知らせを見る

「ボード(CS1デジタル)」または「ボード(CS2デジタル)」を選ぶ。

110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。
あらかじめCSボタンを押して、CS1かCS2に切り換えてください。

ペイパービュー（有料番組）の購入概算額を見る

「ペイパービュー購入履歴」を選ぶ。

先月分と今月分の購入概算額と最近購入した番組の一覧を確認できます。履歴があるときにのみ表示されます。
ペイパービューを見るときは☞25ページをご覧ください。

お気に入りのデータ放送を見る［ブックマーク］

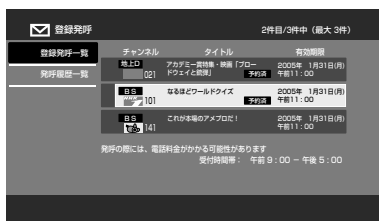
「ブックマーク一覧」を選ぶ。

データ放送によってはブックマークを登録できます。お気に入りのデータ放送を登録しておくと、下記の画面で選ぶだけで切り換えられます。

ブックマークの登録は、データ放送の画面で「お気に入りに追加する」などの項目があるときにできます。

放送局へ情報を送る［登録発呼］

「登録発呼」を選ぶ。

データ放送で、クイズ番組に回答を送ったり、アンケートに投票するなど放送局と通信して楽しむときに、回線が混んでいて通信できないことがあります。そのときは、登録しておくとあとで発信できます。また、発呼受付時間帯以外のものは予約しておくと、発呼予定日時に自動的に発信されます（本体の電源スイッチで電源を切らないでください）。
発呼に失敗すると発呼履歴一覧に∆が表示されます。

あらかじめ「設置・接続編」の「準備13：電話回線を設定する」を行ってください。

ツールでできること…

● ペイパービュー購入履歴表示中

項目	できること
全件削除*1	すべてのペイパービュー購入履歴を削除します。

● ブックマーク一覧表示中

項目	できること
リンク*2	選んだ項目にリンクします。
削除禁止/削除禁止解除	選んだブックマークを削除できないようにします。削除禁止にしているときは解除できます。
削除	選んだブックマークを削除します。
全件削除	すべてのブックマークを削除します。
期限切れ削除	期限の切れているブックマークを削除します。

● 登録発呼一覧表示中

項目	できること
発呼/発呼中止	発呼受付期間中は、すぐに発呼します。発呼中の番組は発呼を取り消せます。
詳細表示	詳細情報を見ることができます。
予約/予約取消	発呼受付開始前であれば、発呼の予約ができます。予約済みの番組は予約を取り消せます。
削除禁止/削除禁止解除	選んだ番組を削除できないようにします。削除禁止にしているときは解除できます。
削除	選んだ番組を削除します。

● 発呼履歴一覧表示中

項目	できること
全件削除*1	すべての発呼履歴を削除します。

*1 履歴があるときのみ
*2 メモと期限切れ以外の番組のとき

その他の機能

消音で電源を入れる［消音ポン］

1 **電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）中に、消音（消音）を押す。**

電源が入り、映像が出ますが、消音状態になります。

2 **音量－ボタンを押して、適当な位置まで音量バーを下げる。**

画面下部に表示される音量バーを見ながら調節してください。このときは消音状態のままです。

3 **消音（消音）または音量＋ボタンを押す。**

消音が解除されて、音声が出ます。

チャンネルボタンで電源を入れる［チャンネルポン］

電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）中に、①～⑫/選局の数字ボタンを押す。

電源が入り、同時にチャンネルも切り換わります。また、下記のボタンを押しても、電源を入れられます。

チャンネル＋/－ボタン：電源が入ります。

地上アナログ/地上デジタル/BS/CSボタン：
電源が入ると同時に各ボタンの放送に切り換わります。

直前に見ていたチャンネルに戻す［ジャンプ］

ジャンプ（ジャンプ）を押す。

直前に見ていたチャンネルに戻れます。

映像や音声を切り換える

映像切換（映像切換）や音声切換（音声切換）を押す。

押すたびに映像信号や音声信号が切り換わります。

例：第2映像と第1音声を選んでいるとき

音声信号
映像信号

字幕放送を見る*1

字幕（字幕）を押す。

押すたびに字幕の言語が切り換わります。

例：第2言語の字幕

文字スーパー *2の言語を切り換えるには

メニューの「文字スーパー設定」で切り換えてください。

「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「表示設定」→「文字スーパー設定」の順に選びます。

ちょっと一言

- チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、「第1言語」または「第2言語」、「オフ」に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。

*1 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。
*2 文字スーパーとはデジタル放送で文字で表示される臨時ニュースなどです。

画面表示/時計表示を見る

画面表示（画面表示）を押す。

テレビの状態を確認できます。
1度押すと画面表示が出て、もう1度押すと時刻が表示されます。

時刻表示はデジタル放送の時刻情報を使用するため、デジタル放送を受信しているときに表示できます。

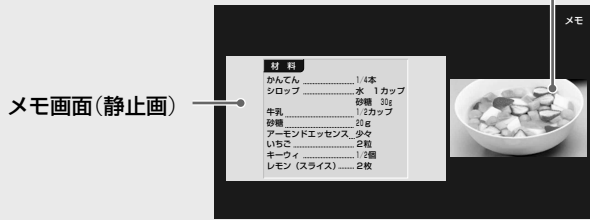
時刻情報を取得するには

地上アナログを見ているときは、ツールから「時刻情報取得」を選ぶとデジタル放送に切り換わり、時刻情報を取得します（☞12ページ）。
デジタル放送を見ているときは、自動的に時刻情報を取得します。

画面をメモする

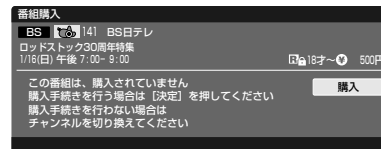
静止させたい場面が映っているときに、メモ（メモ）を押す。

番組やビデオカメラレコーダーの映像、料理番組のレシピなど、メモをとりたい場面を静止させて見ることができます。

放送中の映像（動画）

メモ画面（静止画）

ペイパービュー（有料番組）*3を見る

ペイパービューの番組を選局する。

番組購入画面が表示されます。
↑/↓/←/→/決定で画面の指示に従って操作してください。
ペイパービューの購入概算額を見るには☞23ページをご覧ください。

次のページにつづく ⇨

ご注意

- ケーブルテレビでデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。
  アンテナ線をつないでデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できます。
- 番組によっては、メモ画面を表示したあとでメモボタンを押さなくても、自動で放送中の映像（動画）が閉じることがあります。
- ラジオ放送と独立データ放送およびPC入力のときはメモボタンは働きません。

*3 ペイパービュー（PPV：PAY PER VIEW）とは「見るたびに支払う」の意味で、デジタル放送の番組単位で随時、視聴購入できる有料番組です。ペイパービューには、購入前に内容を確認（プレビュー：事前視聴）できる番組もあります。

その他の機能（つづき）

順送りで選べるチャンネルを変更する［シームレス選局］

チャンネル＋/－ボタンを押したときに、テレビ、ラジオ、独立データの放送サービスごとに、地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルのすべてのチャンネルを順送りで選べるように設定できます。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「アナログ放送設定」を選んで、決定を押す。

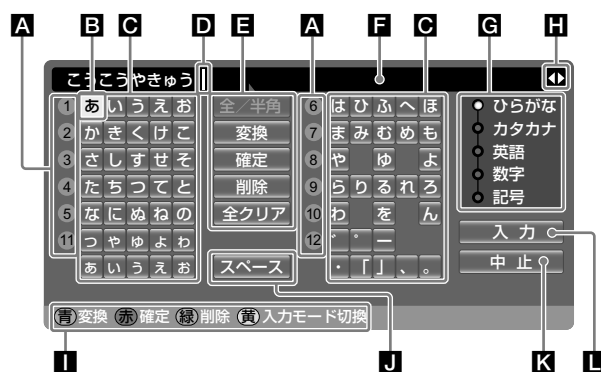
4 ↑/↓で「チャンネル選局」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「シームレス」を選んで、決定を押す。

シームレス：視聴中の放送サービス（テレビ、ラジオ、データ）の中で、すべてのチャンネルを順送りします。

通常：（お買い上げ時の設定）視聴中の放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）と放送サービス（テレビ、ラジオ、データ）の中で、チャンネルを順送りします。

文字を入力する［ソフトウェアキーボード］

文字を入力する必要があるときに自動的に表示されます。

A リモコンの数字ボタンを押すと、同じ数字の行にフォーカスが移動します。更にくり返し押すとフォーカスが移動し携帯電話のように入力できます。

B フォーカス

C 文字ボタン
文字や記号を入力します。

D カーソル

E 編集用ボタン
「**全/半角**」：英字や記号の全角、半角を切り換えます。
「**変換**」：入力した文字を漢字に変換します。
「**確定**」：文字を確定します。
「**削除**」：カーソルの右側の文字を削除します。ただし、カーソルが右端にあるときは、左側の文字を削除します。
「**全クリア**」：入力文字表示エリアにある文字をすべて削除します。

F 入力文字表示エリア
入力中の文字が表示されます。
◣の位置までの確定後の文字が、キーワードなどとして設定されます。◣を超えたときは、確定時に文字列の後が削除されます。

G 入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
黄ボタンでもできます。

H ◀ ▶マーク
入力文字表示エリアでカーソルを移動できるときに表示されます。

I 操作ガイド表示欄
ソフトウェアキーボードを表示中にリモコンでできる操作をガイド表示します（☞28ページ）。

J 「スペース」ボタン
スペース（空白）を入力します。

K 「中止」ボタン
文字入力を中止して、元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は登録されません。

L 「入力」ボタン
確定した文字を入力して、元の画面に戻ります。

文字や記号を入力する

例：キーワード検索で「愛」を入力する

1 **番組検索ボタンを押す。**
キーワード検索が表示されないときは、黄ボタンを押してください。

2 **↑/↓/←/→で「新規追加」を選んで、決定を押す。**
ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 **↑/↓/←/→で「あ」を選んで、決定を押す。**
入力文字表示エリアに「あ」と表示されます。

4 **↑/↓/←/→で「い」を選んで、決定を押す。**
入力文字表示エリアに「あい」と表示されます。

5 **↑/↓/←/→で「変換」ボタンを選んで、決定を押す。**
正しい文字が表示されたときは手順7にすすんでください。

6 **「愛」が表示されるまで、くり返し↑/↓を押す。**

7 **「確定」ボタンが選ばれていることを確認して、決定を押す。**

8 **↑/↓/←/→で「入力」ボタンを選んで、決定を押す。**
ソフトウェアキーボードが消えて、キーワード検索に「愛」が表示されます。

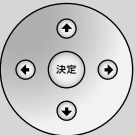
入力した文字を削除するには

入力文字表示エリアに表示されている文字を削除できます。

例：「高校野球の決勝戦」から「の」を削除する

1 **↑/↓/←/→でフォーカスを入力文字表示エリアに移動する。**

2 **←/→で、カーソルを削除する文字の左側に移動する。**

高校野球 ┃ の決勝戦

カーソルが右端にあるときは、カーソルの左側の文字が削除されます。

3 **↑/↓/←/→で「削除」ボタンを選んで、決定を押す。**

高校野球 ┃ 決勝戦

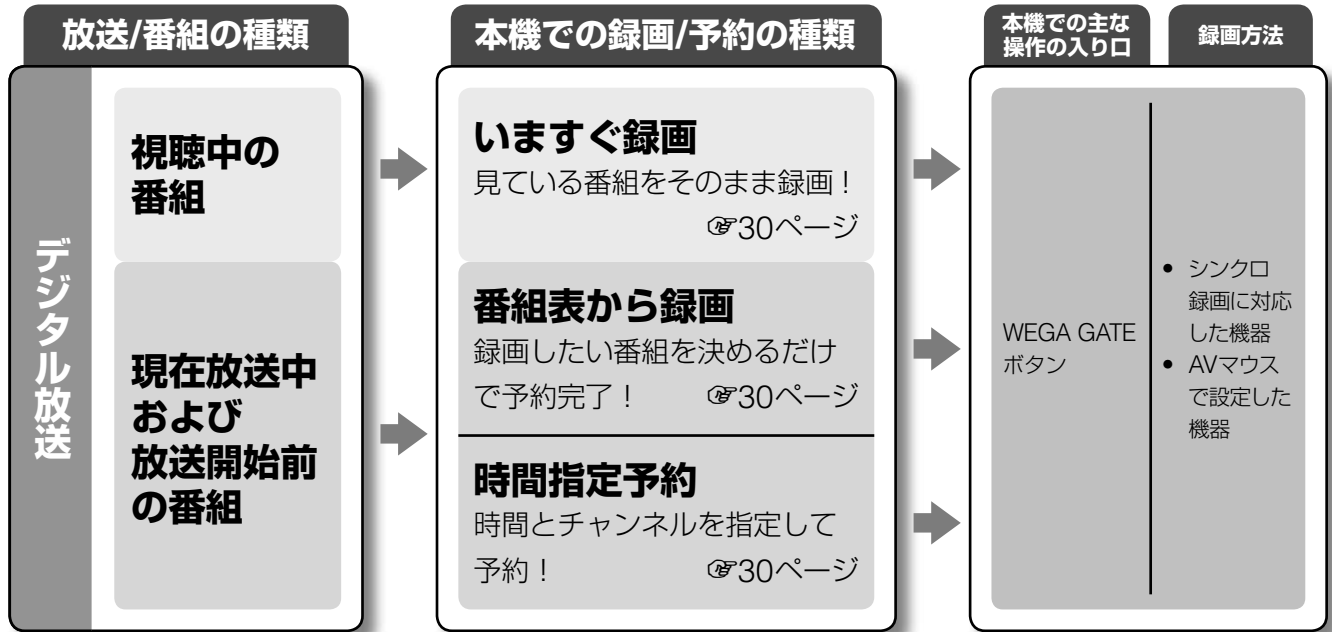
次のページにつづく ⇨

その他の機能(つづき)

ソフトウェアキーボードで使えるリモコンのボタン

ボタン	できること
↑/↓/←/→、決定	**↑/↓/←/→** フォーカスやカーソルを移動します。 **決定ボタン** フォーカスやカーソルの移動を決定して、文字を入力したり、フォーカスのあたっているボタンの機能を実行します。
青	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 入力した文字を漢字に変換します。 「変換」ボタンと同じ働き。 **「英字」入力、「記号」入力のときは** 全角文字と半角文字を切り換えます。 「全/半角」ボタンと同じ働き。
赤	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 変換した文字を確定します。 「確定」ボタンと同じ働き。
緑	カーソルの右側の文字を削除します。 「削除」ボタンと同じ働き。
黄	入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
①～⑫	ソフトウェアキーボードの文字ボタンの行の左端に表示されている数字を見て、数字ボタンで携帯電話のように文字を入力します。
戻る	文字入力を中止して、元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は登録されません。 「中止」ボタンと同じ働き。

本機での録画について

本機と録画機器をつなげば、デジタル放送を録画/録画予約できます。下記の3種類の録画/録画予約があります。地上アナログ放送は本機の録画機能では、録画/録画予約できません。

「シンクロ録画」と「AVマウス録画」

録画機器の種類と接続方法によって、「シンクロ録画」と「AVマウス録画」があり、あらかじめ設定しておく必要があります（☞「設置・接続編」の「録画するための接続」）。

録画実行中に視聴できる放送や外部入力

録画実行中の番組の他に、下記の表のように他の放送や外部入力の映像を見ることができます。

○：すべてのチャンネル/外部入力が視聴可能
△：録画実行中の番組のみ視聴可能
×：視聴不可能

	地上アナログ	地上デジタル	BSデジタル	110度CSデジタル	ビデオ1～3入力	コンポーネント1～3入力	HDMI入力	PC入力
地上デジタル録画実行中	×	△	×	×	○	○	○	○
BSデジタル録画実行中	○	×	△	×	○	○	○	○
110度CSデジタル録画実行中	○	×	×	△	○	○	○	○

ご注意

- 録画予約したときは**本体の電源スイッチで主電源を切らないでください。**主電源が切れていると、予約した時刻になっても電源は入らず、録画が始まりません。
- 録画機器によっては「いますぐ録画」を実行しても、録画開始までに時間がかかることがあります。
- ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機などのときは、録画予約する前に、複合機器側で録画する機器（HDDやDVDなど）を選んでおいてください。

録画・予約する
［いますぐ録画］/［番組表から録画］/［時間指定予約］

最大で20件まで録画予約できます。

1 デジタル放送視聴中に、（ベガゲート）を押す。

2 ↑/↓/←/→で「録画する」を選んで、決定を押す。

見ている番組をすぐ録画する［いますぐ録画］

1 ↑/↓で「いますぐ録画」を選んで、決定を押す。
「いますぐ録画」画面が表示されます。

2 「予約確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。
録画が始まります。

「シンクロ録画」に設定しているときは

見ている番組を録画するときは、必ず、本機の「いますぐ録画」で録画してください。録画機器側ではなく本機でシンクロ録画設定すると、本機で録画設定した時間のみ映像・音声信号が出力されます。録画機器側で録画操作をしても録画できません。
シンクロ録画の設定については、☞「設置・接続編」の「録画するための接続」をご覧ください。

番組を指定して録画予約する［番組表から録画］

1 ↑/↓で「番組表から録画」を選んで、決定を押す。
番組表が表示されます。

2 ↓/↑で録画したい番組を選んで、決定を押す。
番組説明が表示されます。

3 ←/→で「録画予約」を選んで、決定を押す。
「録画予約」画面が表示されます。

4 「予約確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

ご注意

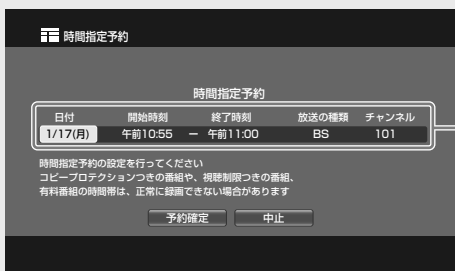
- 録画実行中は本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。録画が中止されます。
リモコンの電源スイッチで電源を切っても録画は継続します。
- 視聴中に録画が始まると、録画実行中のチャンネルに自動的に切り換わります。その後、視聴したいチャンネルや入力に切り換えてください。録画実行中に視聴できる放送や外部入力について詳しくは、☞29ページをご覧ください。
- 独立データ放送のデータ画面はデジタル放送/ビデオ出力端子から出力されないため、予約できません。
- 「番組表から録画」で予約したときでも、くり返し録画するように修正したときは、時間指定予約になります。

日時を指定して録画予約する*［時間指定予約］

1 ↑/↓で「時間指定予約」を選んで、(決定)を押す。

「時間指定予約」画面が表示されます。

2 設定欄が選ばれていることを確認して、(決定)を押す。

「日付」欄が選ばれます。

設定欄

3 ←/→で項目を選んで、↑/↓で設定して、→で次の項目を選ぶ。

予約したい内容を設定してください。

項目	できること
日付	録画する日付またはくり返しを設定できます。
開始時刻	録画開始時刻を設定できます。
終了時刻	録画終了時刻を設定できます。
放送の種類	地上デジタル(地上D)、BSデジタル(BS)、110度CSデジタル(CS1、CS2)から選べます。
チャンネル	録画するチャンネルを選べます。

4 (決定)を押す。

5 ↓/←/→で「予約確定」を選んで、(決定)を押す。

録画を停止するには

1 デジタル放送に切り換える(☞13～15ページ)。

2 ツールボタンを押す。

3 ↑/↓で「録画停止」を選んで、(決定)を押す。

くり返し録画するには

「番組表から録画」と「時間指定予約」ではくり返し同じ時間帯に録画するように設定できます。
「番組表から録画」のときは「番組を指定して録画予約する」(☞30ページ)の操作を行ったあとで、修正してください(☞「予約を修正する」32ページ)。
「時間指定予約」のときは左記の手順3でくり返しの設定を行ってください。

番組を録画・予約する

ちょっと一言

- 有料番組を予約すると、予約時には料金がかかりませんが、録画が始まると料金がかかります。
- 録画実行中は本機前面の電源/録画・予約ランプが赤色に点灯しているので、録画実行中であることを確認できます。

ご注意

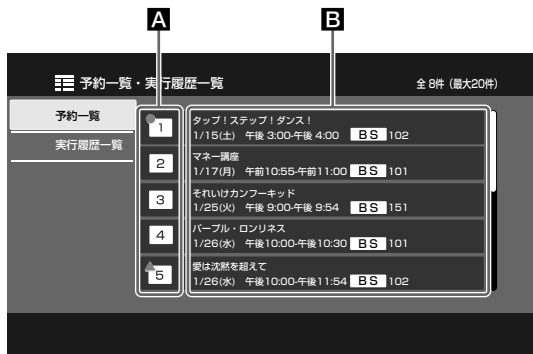
録画実行後にすぐ「録画停止」を行っても、録画終了処理に最長で4分ほどかかる場合があります。

* 未購入のペイパービュー(有料番組)では、予約できても録画できません。

録画予約の内容を確認/修正/削除する［予約一覧］

予約を確認する

予約一覧（予約一覧）を押す。

予約一覧が表示されます。

A 予約番号（☞「マークの意味」）

B 予約設定の内容
番組のタイトル、予約日時、チャンネル。

マークの意味

- 1：予約番号。番号の順に実行されます。
- ●1：録画実行中の予約。
- 終了中 1：録画を終了中の予約。録画機器によっては録画を終了するのに多少時間がかかることがあります。
- ★1：予約保護が設定されている予約。
- ×1：重複していて、録画できない予約（☞33ページ）。
- ↻1：くり返し予約の一部に重なりがある予約。
- ▲1：重複していて、部分的に録画できない予約（☞33ページ）。

予約を修正する

時間指定予約では設定した内容を修正できます。「番組表から録画」をしたときは「日付」欄のみくり返し録画する設定に変更でき、その場合は時間指定予約となります。

1 **予約一覧（予約一覧）を押す。**

予約一覧が表示されます。

2 **↑/↓で修正したい番組を選んで、（ツール）を押す。**

ツールが表示されます。

3 **↑/↓で「予約修正」を選んで、決定を押す。**

「予約修正」画面が表示されます。
時間指定予約の修正をするときは、手順5に進んでください。

4 **←/→で「はい」を選んで、決定を押す。**

5 **設定欄が選ばれていることを確認して、決定を押す。**

「日付」欄が選ばれます。

6 **←/→で修正したい項目を選んで、↑/↓で設定して、→で次の項目を選ぶ。**

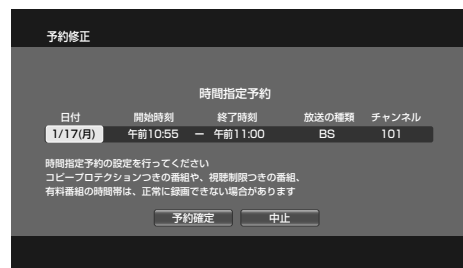
「番組表から録画」をしたときは、「日付」欄のみ修正できます。

7 **手順6をくり返して、各項目を修正する。**

8 **決定を押す。**

9 **↑/↓/←/→で「予約確定」を選んで、決定を押す。**

ご注意

- 「番組表から録画」で、放送時間などの変更に対応するように設定（☞「設置・接続編」の「録画するための接続」→「録画・予約をするための設定をする」）していても、くり返し録画するように修正したときは時間指定予約になるため、放送時間などの変更に対応できません。
- 「番組表から録画」のときは「日付」欄のみ修正できます。

予約を削除する

1 (予約一覧)を押す。

予約一覧が表示されます。

2 ↑/↓で削除したい番組を選んで、(ツール)を押す。

ツールが表示されます。

3 ↑/↓で「予約削除」を選んで、決定を押す。

4 ←で「はい」を選んで、決定を押す。

ツールでできること…

● 予約一覧表示中

項目	できること
録画停止	録画実行中は録画を停止します。
予約削除	選ばれている予約を削除します。
予約修正*	選ばれている予約の「予約修正」画面を表示します。
予約保護/予約保護解除*	選ばれている予約の保護設定や、保護解除ができます。 保護設定がされている予約と重複したときは、保護設定がされている予約が優先して録画されます(★1)。他の予約が実行中のときも、保護設定がされている予約を優先します(★1)。 予約保護は1件のみ設定できます。

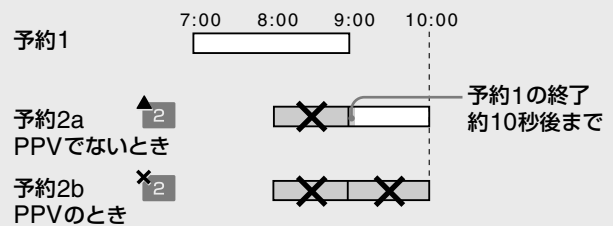
* 録画実行中は表示されません。

重複している予約はどうなるの?

- 下の図で、☒の部分は実行されません。
- ペイパービュー(有料番組、PPV)(☞25ページ)は、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます。

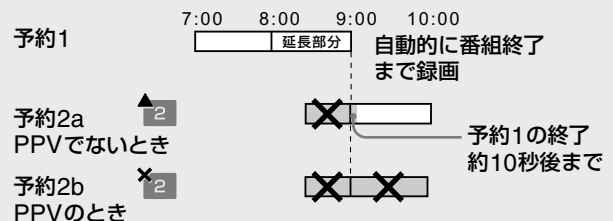
放送時刻が重なっているときは?

先に始まる番組(予約1)が優先されます。

あとから始まる番組(予約2a)は、予約1の終了約10秒後から録画されます(▲2)。ただし、ペイパービュー(予約2b)は、予約自体が自動的に取り消されます(×2)。

前の番組が延長されて、他の予約に重複したときは?

延長された番組(予約1)が自動的に番組終了まで録画されます。

「流動編成·イベントリレー対応設定」を「する」に設定していて(☞「設置·接続編」の「他機との接続」→「録画するための接続」→「録画·予約をするための設定をする」)、録画時間が変わり他の予約に重複したときも同じです。

延長により重複した番組(予約2a)は、予約1の終了約10秒後から録画されます(▲2)。ただし、ペイパービュー(予約2b)は、予約自体が自動的に取り消されます(×2)。

予約が連続しているとき

前の予約の終了時刻と、後の予約の開始時間が同じときは、前の予約終了前の数10秒が録画されません。

予約保護が設定されている予約と重複したときは?

予約保護の予約が優先して録画されます(★1)。他の予約が実行中のときも、予約保護の予約を優先します(★1)。

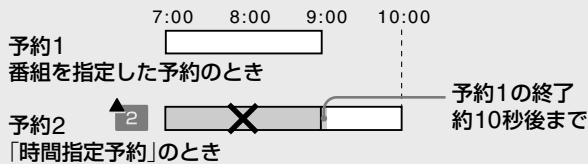
番組を録画・予約する

次のページにつづく ⇨

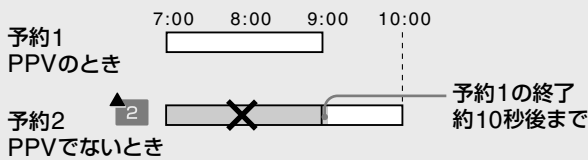
録画予約の内容を確認/修正/削除する[予約一覧](つづき)

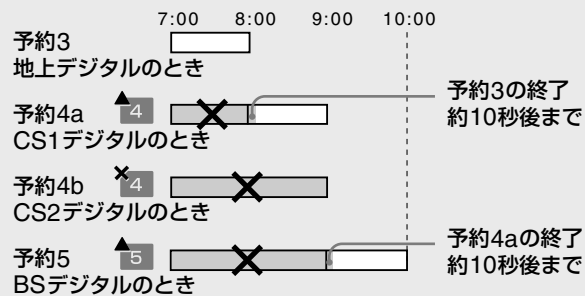
開始時刻が同じときは?

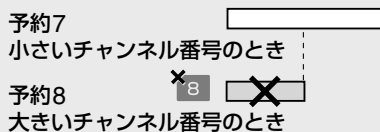
その1 番組を指定した予約(予約1)が時間指定予約(予約2)より優先されます。

重なった予約の放送時間が長いとき(予約2)は、予約1の終了約10秒後から録画されます(2)。

その2 番組を指定した予約のとき

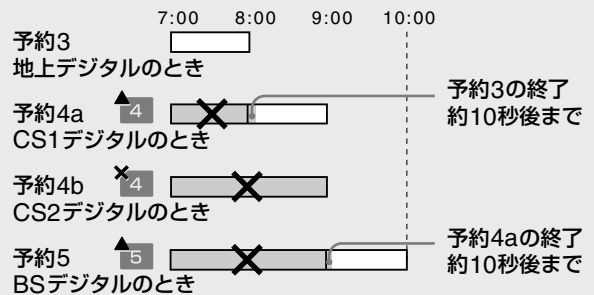
①ペイパービュー(予約1)が優先されます。

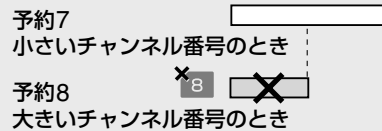
重なった予約の放送時間が長いとき(予約2)は、予約1の終了約10秒後から録画されます(2)。

②地上デジタル、CS1デジタル、CS2デジタル、BSデジタルの順に優先されます。

重なった予約がすべてペイパービュー、あるいはすべてペイパービューでないときです。優先順位の低い番組の放送時間が長いとき(予約4a、4b、5)は、優先順位の高い番組(予約3、4a、4b)の終了約10秒後から録画されます(4、5)。

③小さいチャンネル番号が優先されます(予約7)*。

重なった予約の両方が同じデジタル放送(BSデジタルとBSデジタルなど)で、両方ともペイパービュー、あるいは両方ともペイパービューでないときです。

その3 時間指定予約のとき

①地上デジタル、CS1デジタル、CS2デジタル、BSデジタルの順に優先されます。

優先順位の低い番組の放送時間が長いとき(予約4a、4b、5)は、優先順位の高い番組(予約3、4a、4b)の終了約10秒後から録画されます(4、5)。

②小さいチャンネル番号が優先されます(予約7)*。

重なった予約の両方が同じデジタル放送(BSデジタルとBSデジタルなど)のときです。

* 地上デジタルはチャンネル番号順にはなりません。「設置・接続編」の「地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表」に記載されている順番になります。

録画予約が実行されたかを確認する

1 予約一覧（予約一覧）を押す。

2 ⬆/⬇で「実行履歴一覧」を選んで、決定を押す。

実行履歴一覧が表示されます。
最大で20件まで表示され、古いものから順に削除されます。

3 詳細を確認したいときは、⬆/⬇で番組を選んで、決定を押す。

マークの意味

1：正しく終了した録画予約。
×1：キャンセルされた録画予約。
⬆/⬇で選んで、決定を押すと表示される詳細で、確認してください。
i1：正しく終了できなかった予約。
⬆/⬇で選んで、決定を押すと表示される詳細で、確認してください。

ツールでできること…

● 実行履歴一覧表示中

項目	できること
実行履歴確認	選んでいる番組の録画予約実行結果の詳細を表示します。
全件削除	予約の履歴をすべて削除します。

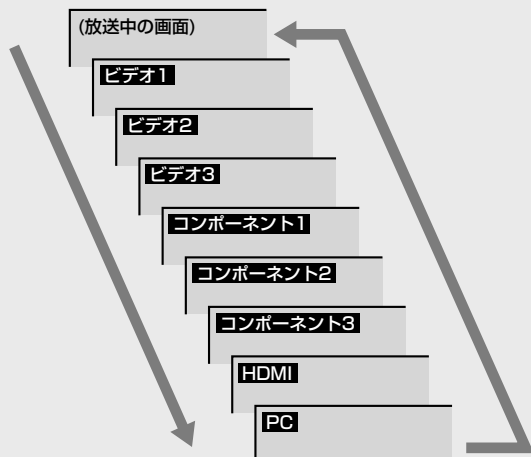
つないだ機器の映像を見る

入力切換（入力切換）を押す。

入力スキップを「オート」に設定しているときは

機器をつないでいる入力にのみ切り換えられます(☞49ページ)。ただし、HDMI入力、PC入力は設定にかかわらず切り換えられます。

ビデオラベルを設定しているときは

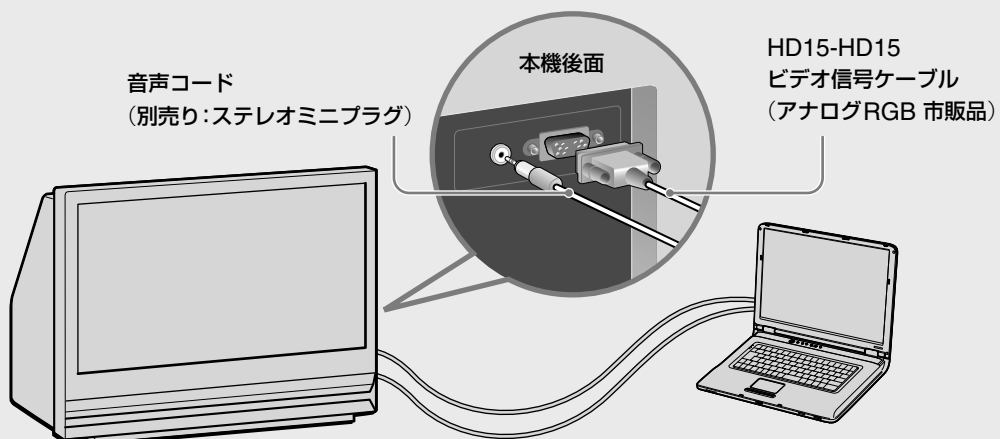
設定した名称も表示されます(☞48ページ)。

ツールでできること…

● 外部入力視聴中

項目	できること
時刻情報取得	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。時計表示(☞25ページ)やオンタイマー(☞46ページ)を使うために必要です。

パソコンをつなぐには

本機を市販のビデオ信号ケーブルでパソコンにつなぐと、本機の画面にパソコンの画面を映し出すことができます。また、別売りの音声コードをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

「パソコン(PC)入力の設定をする」(☞52ページ)もご覧ください。

ちょっと一言

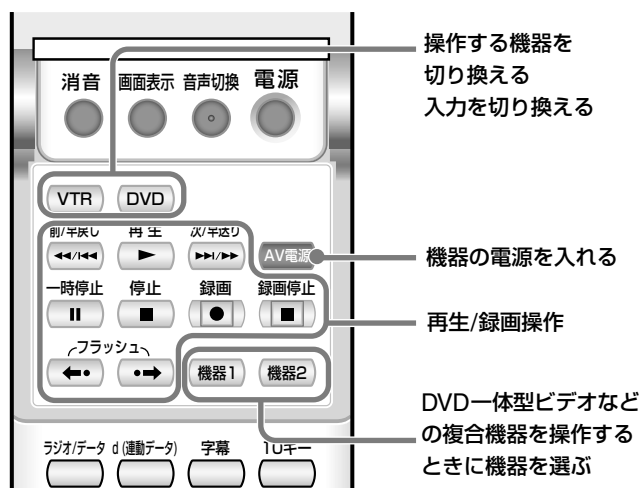
- VTRボタンやDVDボタンに外部機器入力設定(☞38ページ)をしているときは、VTRボタンまたはDVDボタンを押すだけで、設定した入力に切り換わります。
- 本体の入力切換ボタンで入力切り換えをするときは、放送の種類の切り換えも含めて切り換わります。
- パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

Macintoshコンピューターにつなぐときは

コンピューターの出力端子につなぎます。また、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。アダプターは先にコンピューターに差し込んでから、ビデオ信号ケーブルにつなぎます。

本機のリモコンでつないだ機器を操作する

本機のリモコンで、本機につないだ機器の基本的な操作ができます。あらかじめVTRボタンやDVDボタンに機器を登録しておいてください。

つないだ機器を操作できるボタン

ソニー製のビデオ、DVDプレーヤー /レコーダー、DVD一体型ビデオ、ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機、デジタルCSチューナー、PSXとつないでいる場合は、VTRボタンまたはDVDボタンが点灯中に次のボタンが使用できます。

- 数字ボタン
- WEGA GATEボタン*
- ↑/↓/←/→/決定ボタン

他にも機器によっては使用できるボタンがありますので、設定した機器で確認してください。

使用できるボタンの一例
番組表ボタン、番組説明ボタン、ツールボタン、戻るボタン、メニューボタンなど

設定した機器に対応していないボタンを押したときは、VTRボタンまたはDVDボタンが早く3回点滅します。

* 接続機器付属のリモコンに「システムメニュー」がある場合、そのボタンに対応しています。

ちょっと一言

- 機器によっては操作できない機能があります。その場合には機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能がない場合は、そのボタンは働きません。

本機につないだ機器を登録する

VTRボタンとDVDボタンそれぞれに機器を登録できます。

VTRボタンやDVDボタンのどちらにも機器の種類に関わらず、リモコンコード表(☞39ページ)にある機器を登録できます。
例: VTRボタンにソニー製のビデオを設定し、DVDボタンに他社製ビデオを設定するなど。

1 **リモコンのふたを開ける。**

2 **VTR(VTR)またはDVD(DVD)を押しながら、数字ボタンで3桁のリモコンコードを入力する。**

リモコンコードについてはリモコンコード表(☞39ページ)をご覧ください。

正しく設定すると
VTRボタンまたはDVDボタンが、ゆっくり2回点滅します。

設定に失敗すると
VTRボタンまたはDVDボタンが、早く5回点滅します。
もう1度、設定し直してください。

ご注意
VTRボタン、DVDボタンには機器を1台ずつ登録できます。2台目の機器を登録すると、1台目の登録は取り消されます。

3 **VTR(VTR)またはDVD(DVD)を押してから、AV電源(AV電源)を押す。**

機器の電源が入るか確認します。
— リモコンを機器に向けて操作してください。
— 登録する機器のリモコンコードが複数あるときは、手順2と3をくり返して、機器が操作できるまで別のリモコンコードを登録し直してください。

ご注意

- VTRボタンまたはDVDボタンが赤色に点灯している間にAV電源ボタンを押してください。消灯してしまったら、もう一度VTRボタンまたはDVDボタンを押して下さい。
- ソニー以外のメーカーの複合機器を登録するときは、AV電源ボタンを押す前に機器1ボタンを押さないと電源が入らないものもあります。

次のページにつづく ⇨

本機のリモコンでつないだ機器を操作する（つづき）

本機のリモコンでつないだ機器を操作する

1 **つないだ機器に必要な準備をする。**

機器の電源をつなぐなどの接続準備をしてください。

2 **リモコンのふたを開ける。**

3 **操作する機器を登録したボタン（VTR（VTR）またはDVD（DVD））を押す。**

押したボタンが点灯し、「外部機器入力設定」をしているときは、機器をつないだ入力に切り換わります（☞右記）。

設定していないときは、入力切換ボタンを押して切り換えてください。

— ボタンが点灯している間のみ機器を操作できます。
— 何も操作せずに約30秒経過したときは消灯し、通常のリモコンに戻ります。
— ボタンが消灯してしまったときはもう1度押してください。
— DVD一体型ビデオなどの複合機器を操作するときは、手順4に進んでください。
— 複合機器以外の機器を操作するときは、手順5に進んでください。

4 **機器1（機器1）または機器2（機器2）を押して、操作する機器を切り換える。**

DVD一体型ビデオのときは
機器1ボタン：ビデオを操作できます。
機器2ボタン：DVDを操作できます。
ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機のときは
機器1ボタン：DVDを操作できます。
機器2ボタン：ハードディスクレコーダーを操作できます。

ご注意

- 複合機器によっては、機器1または機器2ボタンで操作できる機器が上記と逆になることがあります。
- 複合機器によっては機器1、機器2ボタンを押しても操作できる機器を切り換えられないこともあります。その場合は、機器に付属のリモコンで操作してください。

5 **リモコンを、操作したい機器に向けて操作する。**

VTRボタンやDVDボタンを押すだけで入力も切り換わるように設定する［外部機器入力設定］

VTRボタンやDVDボタンを1回押すだけで、機器をつないだ入力に画面が切り換わり、引き続き本機のリモコンで機器を操作できるように設定します。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。**

3 **↑/↓で「各種設定」を選んで、決定を押す。**

4 **↑/↓で「外部機器入力設定」を選んで、決定を押す。**

5 **↑/↓で「VTR」または「DVD」を選んで、決定を押す。**

6 **↑/↓で入力を選んで、決定を押す。**

「本機につないだ機器を登録する」（☞37ページ）で登録した機器につないだ入力を選びます。

ちょっと一言

VTRボタンまたはDVDボタンが点灯中に次のようにするとボタンは消灯し、本機操作用のリモコンに戻ります。消灯させることにより、電池の消耗を抑えられます。
－点灯中のボタンをもう1度押す。
－リモコンのふたを閉める。

外部機器入力設定用リモコンコード表

ビデオ				
ソニー	001	002	003*1	004
	005	006		
松下	010	011	012	013
	014			
東芝	015	016	017	018
日立	019	020	021	022
三菱	023	024	025	026
日本ビクター	027	028	029	030
	031	032		
サンヨー	033	034	035	036
アイワ*2	037	038	039	040
	049			
シャープ	041	042	043	
フナイ	044			
NEC	045	046	047	048

DVDプレーヤー			
ソニー	101*1	118	119
松下	102		
東芝	103		
日立	104		
三菱	105		
日本ビクター	106		
アイワ*2	107		
シャープ	108		
パイオニア	109	110	
フィリップス	111		
RCA	112		
デノン	113	114	
ヤマハ	115		
SAMSUNG	116		
オンキョー	117		

DVD一体型ビデオ				
ソニー	201			
日立	202			
日本ビクター	203	204	205	206
サンヨー	207			
アイワ*2	208			
フナイ	209			
SAMSUNG	210			

ハードディスクレコーダー /DVDレコーダー / ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機				
ソニー	301	302	303	304
	305	306	307	308
松下	401	402	403	
東芝	404	405	409	
パイオニア	406	407	408	

ブルーレイディスクレコーダー(BD)			
ソニー	501	502	503

AVアンプ				
ソニー	601	602	603	604

PSX			
ソニー	801	802	803

デジタルCSチューナー	
ソニー	701

ご注意

リモコンの電池を取り出したり、電池の寿命がくると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう1度設定し直してください。

*1 お買い上げ時の設定です。

*2 アイワのリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニーのリモコンコードで登録してください。

画質を調整する

画質モードを切り換える

各放送や入力で別々に設定できます。
ご家庭でのご使用は「ナチュラル」をおすすめします。

（画質モード）を押す。

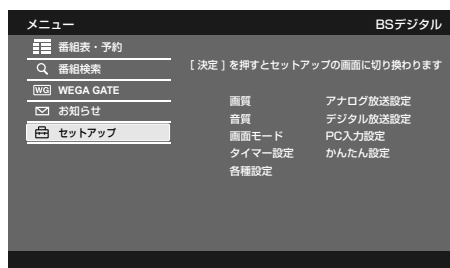
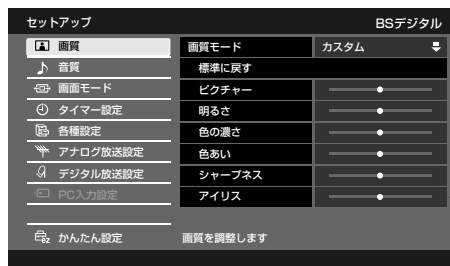
より細かく画質を調整する

画質モードが「ナチュラル」と「カスタム」のときは、より細かく調整ができます。

1 画質を調整したい放送や入力に切り換える。

2 （メニュー）を押す。

3 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「画質」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

画質モード

選ぶ項目	できること
ダイナミック	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像(お買い上げ時の設定)。
ナチュラル	ご家庭でのご使用に合わせた、自然さを重視した標準的な映像。ご家庭では「ナチュラル」をおすすめします。より細かく調整できます。
カスタム	「ナチュラル」より更に多くの項目の調整ができ、お好みの画質に調整できます。

「ダイナミック」「ナチュラル」「カスタム」で調整できる項目

選ぶ項目	できること
DRC-MFモード切換	**DRC高密度・標準**:地上アナログやビデオ、デジタル放送の525i(480i)標準テレビ信号SDなど、一般的な映像のときに選びます。 **DRCプログレッシブ**:文字や画像、細かい横線が多い映像で、部分的な映像のゆれやチラツキが気になるときに選びます。 **切**:元の映像の状態を確認できます。
シネマドライブ	映画フィルムをより忠実でなめらかな動きのある映像に再現します。輪郭がギザギザして見えるときは、「切」にしてください。

「ナチュラル」と「カスタム」で調整できる項目

選ぶ項目	←を押すと	→を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭がやわらかくなる	映像の輪郭がくっきりする
アイリス	画面が暗くなる	画面が明るくなる

「カスタム」でのみ調整できる項目

選ぶ項目	できること
NR(ノイズリダクション)*	**「オート」、「強」、「中」、「弱」**:映像のざらつきや色ノイズを軽減します(ゴーストなど電波障害は軽減されません)。 **「切」**:元の映像信号(処理していないオリジナル信号)の状態を確認できます。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることもあります。
色温度	「4(**高**)」から「1(**低**)」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になります。
H(ハイパー)ホワイト	白の鮮明さを強調します。
色補正	美しく健康的な肌色を再現したり、色を鮮やかに再現したりします。
黒補正	黒を強調してコントラストを強くします。
アドバンストアイリス	アイリス(絞り)を映像に合わせて自動で調整します。黒が引き締まり、コントラストがよくなります。
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整します。

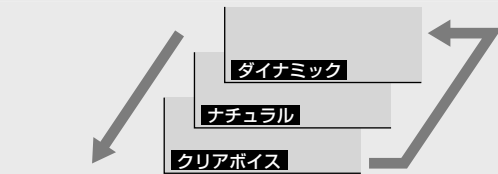
* オリジナルの映像の種類によっては、「弱」または「中」、「強」のほうがきれいに見えることがあります。ただし、録画予約したデジタル放送の録画実行中は、設定を変えるとデジタル放送/ビデオ出力端子からの出力信号にノイズが出ることがあるため、切り換えないでください。

音質を調整する

音質モードを切り換える

各放送や入力で別々に設定できます。

音質モード（音質モード）を押す。

ダイナミック
ナチュラル
クリアボイス

より細かく音質を調整する

1 音質を調整したい放送や入力に切り換える。

2 メニュー（メニュー）を押す。

3 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「♪音質」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

音質モード

選ぶ項目	できること
ダイナミック	重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質。映画やロックコンサートなど、迫力あるコンテンツ向きです。
ナチュラル	オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどの番組向きです。
クリアボイス	人の話し声の領域を強調した音質。ニュースなど、セリフの多いコンテンツ向きです。

調整できる項目

選ぶ項目	←を押すと	→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が大きくなる	右側の音が大きくなる

サラウンド	できること
	TruSurround 5.1*:5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、本機の左右のスピーカーで立体感にあふれ、動きのある音声を仮想的に再現します。 TruSurround XT:TruSurround XTの搭載により、通常のステレオ放送でも、本機の左右のスピーカーから映画館にいるような明瞭な台詞、迫力のある低音を再現します。 **シミュレートステレオ**:モノラル音声を擬似ステレオで広がりのある音声にして再現します。 **切**:5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、通常のステレオ音声(2ch)に変換して再現します。 それ以外の放送は、オリジナル音声をそのまま再現します。

* 5.1chサラウンドの放送のときにのみ効果があります。

本機後面の光デジタル音声出力端子から出力される信号について

光デジタル入力対応のオーディオ機器に接続すると、デジタル放送の高音質な音声を楽しめます。
メニューボタンを押して、「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「接続機器設定」→「光デジタル出力設定」の順に選びます。

選ぶ項目	できること
オート	AAC対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声のときは、AAC音声(デジタル放送用音声方式)がそのまま出力されます。 地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声のときは、PCM音声(2ch)のデジタル信号に変換して出力されます。
PCM	AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声も、地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声もすべて、PCM音声(2ch)のデジタル信号に変換して出力されます。

オーディオ機器につないだスピーカーで音声を聞くときは

メニューボタンを押して、「セットアップ」→「各種設定」→「スピーカー出力」→「切」の順に選びます。
本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

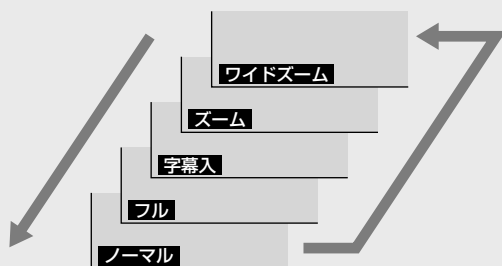
ご注意

ヘッドホンを使用しているときは、「サラウンド」および音質モードの効果は無効になります。

画面モードの設定をする

画面モードを手動で切り換える［ワイド切換］

お買い上げ時は自動で画面モードが切り換わる（オートワイド）ように設定されています。画面が変わるたびに画面モードが切り換わるのが気になるときは、あらかじめ、「オートワイド」を「切」に設定し、手動でお好みの画面モードを選ぶことができます。
また、「オートワイド」が「1」または「2」に設定されていても、手動で画面モードを切り換えることもできます。

ワイド切換（ワイド切換）を押す。

画面モードの自動切換を設定する［オートワイド］

1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「画面モード」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

設定項目

選ぶ項目	できること
オートワイド設定	**オートワイド** **切**：画面モードは自動的には切り換わらなくなります。ワイド切換ボタンでお好きな画面モードを選んで固定できます。 1：（**お買い上げ時の設定**）識別制御信号があるときのみ、最適な画面モードに自動的に切り換えます。 2：識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに自動的に切り換えます。 **4:3映像** オートワイド「2」のときに4:3映像をどのように表示するかの設定です。 **ワイドズーム**：4:3映像をワイドズームで表示します。 **ノーマル**：4:3映像をそのまま表示します。
ワイド切換	手動でお好みの画面モードに切り換えられます。オートワイド「切」にしておくとお好みの画面モードに固定できます。
画面位置 左右	画面の左右が欠けるときに「－5」～「＋5」の中から最適な数値を選んで画面位置を調節してください。
画面位置 上下 縦サイズ	画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないときに「－5」～「＋5」の中から最適な数値を選んで画面位置を調整してください。 「ズーム」、「字幕入」の画面モードごとに設定できます。

ちょっと一言

番組情報が表示されているときや視聴している番組によっては、ワイド切換ができないことがあります。

オートワイドの働きかた

オートワイドには、「1」と「2」があります。下の例は、オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ワイドズーム」に設定しているときです。

A:地上アナログ、D:デジタル放送、外:外部入力(PC入力を除く)

オリジナルの映像(映像の種類)	画面モード	オートワイドの映像
A 通常のテレビ(地上アナログ)放送(横縦比4:3) D 標準テレビ信号SDの4:3映像 外 識別制御信号が入っていない横縦比4:3の映像	ワイドズームになる	オリジナルの映像を違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
A 外 ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画(横縦比1.85:1) D 標準テレビ信号SDのレターボックス4:3映像(画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9)で、識別制御信号のあるとき	ズームになる	画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。(映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。)
A 外 シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画(横縦比2.35:1)	字幕入になる	画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。
外 横縦比を16:9にする識別制御信号が入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像(ID-1方式やS2方式)	フルになる	天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
D デジタルハイビジョン信号HDまたは標準テレビ信号SDの16:9映像	フルになる	オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。
D デジタルハイビジョン信号HDまたは標準テレビ信号SDのサイドパネル16:9映像(画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3)	フルになる	オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。
A D 「オートワイド」を「2」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定したとき(☞44ページ)(デジタルハイビジョン信号HDを除くすべての映像) 外 横縦比を4:3にする識別制御信号が入ったテレビ放送、ビデオカメラやDVDソフトなどの映像(ID-1方式やS2方式)	ノーマルになる	オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。

ご注意

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。
- デジタルハイビジョン信号HDは「フル」に固定されて、手動で画面モードを切り換えられません。

タイマーの設定をする

オフタイマーを設定する

自動的に電源を切るように設定できます。

（オフタイマー）を押す。

本機前面の「通信/タイマー/ランプ」ランプがオレンジ色に点灯します。

オンタイマーを設定する

目覚まし時計のかわりなどに、自動で電源が入るように設定できます。
オンタイマーを設定すると、本機前面の「通信/タイマー/ランプ」ランプがオレンジ色に点灯します。

ご注意

オンタイマーを設定したあとは、本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。設定した時刻になっても本機の電源が入りません。

オンタイマーはデジタル放送の時刻情報を使用するため、デジタル放送を受信しているときに使えます。

時刻情報を取得するには

地上アナログを見ているときは、ツールから「時刻情報取得」を選ぶとデジタル放送に切り換わり、時刻情報を取得します（☞12ページ）。
デジタル放送を見ているときは、自動的に時刻情報を取得します。

1 （オンタイマー）を押す。

2 ↑/↓で「タイマー予約」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「入」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「時刻設定」を選んで、決定を押す。

5 ←/→で設定する項目を選ぶ。

6 ↑/↓で設定して、決定を押す。

7 ↑/↓で「音量」を選んで、決定を押す。

8 ↑/↓で音量を設定して、決定を押す。

音量の数値は、音量＋/－ボタンで音量調節をするときに、画面に表示される音量バーの右側の数字です。

ご注意

ケーブルテレビでデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。
アンテナ線をつないでデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できます。

ちょっと一言

オンタイマーで電源が入ってから1時間以上何も操作しなかったときは、自動的に電源が切れます。

無操作時に電源を切る［無操作電源オフ］

チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作をしなかったときは、電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）になります。
お買い上げ時は「切」になっています。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「タイマー設定」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「無操作電源オフ」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「1時間」または「2時間」、「3時間」を選んで、決定を押す。

オートシャットオフ

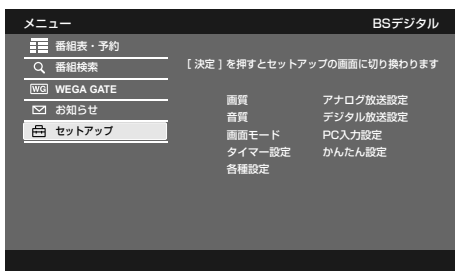
地上アナログを視聴中に、約9分間、無信号を検出すると「オートシャットオフ」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）になります。深夜などの放送終了後には、自動で電源スタンバイになります。

各種設定をする

電源を入れたときに静かな音で始まるようにする［サイレンススタート］

電源を入れたときに、徐々に音量が出るように設定できます。

1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「サイレンススタート」を選んで、決定を押す。

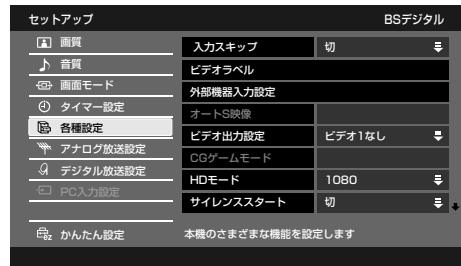
5 ↑/↓で「入」を選んで、決定を押す。

入力切換時に接続機器名を表示させる［ビデオラベル］

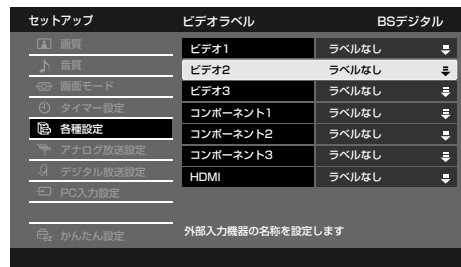
入力を切り換えたときなどに、つないだ機器に合わせて名前を表示させる設定ができます。「ラベルなし」を選ぶと、お買い上げ時の名前に戻ります。各入力で別々に設定できます。

例：ビデオ2入力にDVDプレーヤーをつないだときに、名前を「DVD」に変更する。

1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「ビデオラベル」を選んで、決定を押す。

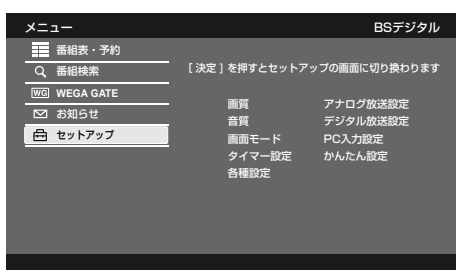
5 ↑/↓で「ビデオ2」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で「DVD」を選んで、決定を押す。

機器をつないでいない入力をとばす［入力スキップ］

入力切換ボタンを押したときに、機器を接続している入力にのみ切り換わるように設定できます。

1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「入力スキップ」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「オート」を選んで、決定を押す。

高地で使う［高地モード］

高地は気圧が低いため、本機内の温度が上がりやすくなります。本機内が高温になると、メッセージが表示され、約1分後に電源が切れます。
高地でお使いのときに、本機の冷却用ファンの回転数を上げ、冷却効果を高めるように設定できます。

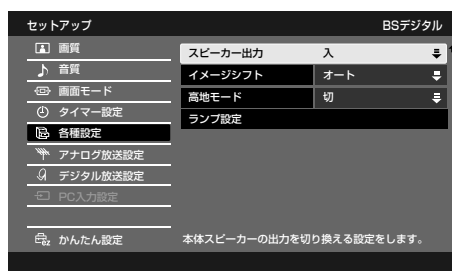
1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「高地モード」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「入」を選んで、決定を押す。

設定／調整する

次のページにつづく ⇨

ご注意

- 入力スキップをするときは、必ず映像端子をつないでください。
  音声端子しかつないでいないときは、入力切換ボタンを押しても切り換えられません。
- HDMI入力、PC入力は入力スキップできません。

ちょっと一言

入力スキップを「オート」に設定していても、WEGA GATE<ベガゲート>から「接続機器をたのしむ」を選んだときは、すべての入力が表示され、切り換えられます。

各種設定をする（つづき）

光源用ランプ交換の設定をする［ランプ設定］

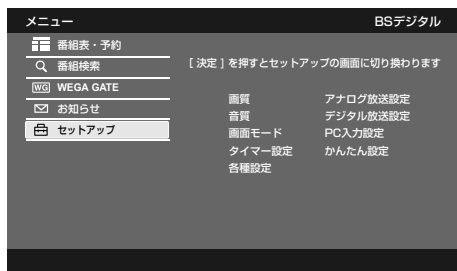
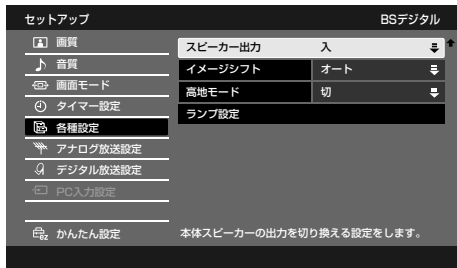
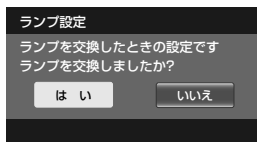
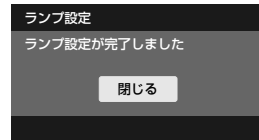
ランプ交換時期をお知らせするための設定です。ランプを交換したあとは、必ず設定してください。

1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「ランプ設定」を選んで、決定を押す

5 ←/→で「はい」を選んで、決定を押す。

6 「閉じる」を選んで、決定を押して、「ランプ設定」画面を消す。

その他の設定項目

選ぶ項目	できること
外部機器入力設定	本機のリモコンで他機器を操作するときに、VTRボタンまたはDVDボタンを押すと自動的に入力も切り換わるように設定します（☞38ページ）。
オートS映像	ビデオ1入力のS2映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは、ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを設定します。S2映像入力端子からの映像を見るときは、必ず「入」にしてください。 **入**：S2映像入力端子から入力された映像を見る。 **切**：映像入力端子から入力された映像を見る。
ビデオ出力設定	ビデオ1入力の映像や音声を、デジタル放送/ビデオ出力端子から出力させたいときは、「ビデオ1あり」に設定してください。
CG*ゲームモード	**入**：動きの速いゲームやタイミングを合わせて遊ぶゲームのときに、映像の表示の遅れを軽減します。 **切**：（お買い上げ時の設定）画質を優先した設定です。

* コンピューター・グラフィックスの略です。

ご注意

CGゲームモードは「DRC-MFモード切換」で「DRC高密度・標準」（☞41ページ）を選んでいるときのみ設定できます。

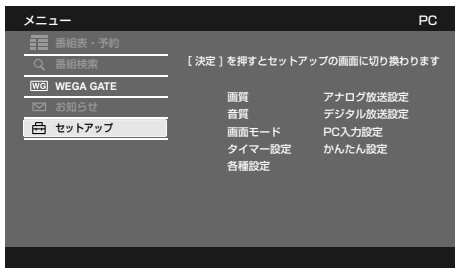
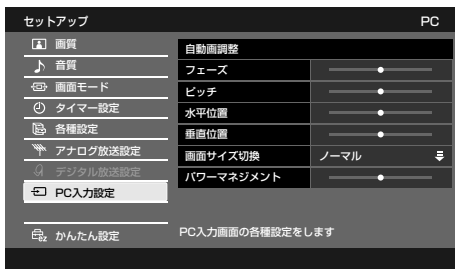
選ぶ項目	できること
HDモード	デジタル放送やコンポーネント入力端子から入力される信号を判断して、本機の画面に映すための設定です。 1080：お買い上げ時の設定。デジタルハイビジョン放送機器をつないでいるときに選びます。 1035：従来のアナログハイビジョン（ベースバンド）機器をつないでいるときに選びます。
スピーカー出力	**入**：本機のスピーカーから音声が出ます。 **切**：本機のスピーカーから音声は出ません（☞43ページ）。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
イメージシフト	テレビ放送や外部入力の映像、メニューの画面など全ての映像が二重に映っていたり、色がずれていたりするときに、画像を補正できます。 **オート**：お買い上げ時の設定。 1～4：「1」～「4」の中から最適な数値を選び、画像を補正できます。

ご注意

地上アナログ放送のゴーストによる二重映りは「イメージシフト」の設定では低減できません（☞59ページ）。

パソコン(PC)入力の設定をする

1 (メニュー)を押す。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「PC入力設定」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定する項目を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

設定項目

選ぶ項目	できること
自動画調整	自動的に入力信号にあったフェーズ、表示位置にします。
フェーズ	画面にチラツキがある場合に調整します。
ピッチ	画像に縦じま状のノイズがある場合に調整します。
水平位置	画像の水平位置を調整します。
垂直位置	画像の垂直位置を調整します。
画面サイズ切換	**ノーマル**:オリジナルのサイズで表示します。 **フル1**:オリジナル映像の横縦比率を保ったまま、有効画面いっぱいに表示します。 **フル2**:オリジナルの映像を有効画面いっぱいに表示します。 **ズーム**:オリジナルの映像の横縦比16:9の部分を拡大し、ワイド画面(横長)いっぱいに表示します。パソコンでDVD等のワイド映像を再生するときに適しています。
パワーマネジメント	パソコンから約9分間入力信号がないと、「パワーマネジメント設定によりまもなくパワーセーブ状態になります」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイ(スタンバイランプが赤色に点灯)になります。 電源スタンバイ状態から再び電源を入れて、画面が明るくなるまでに多少時間がかかります。

上記の項目以外にも、画質のピクチャー、明るさ、アイリス、色温度や音質の調整ができます(☞40、42ページ)。

ご注意

パソコンによっては、自動画調整を行っても、チラツキやノイズなどが出ることがあります。
その場合は、フェーズやピッチを調整してください。

ちょっと一言

パソコンからの入力信号がないときは、全ての設定が行えません。

PC入力対応信号表

解像度			水平周波数［kHz］	垂直周波数［Hz］	VESA規格
信号名	水平［Pixel］	垂直［Line］			
VGA	640	480	31.5	60	—*1
	640	480	37.5	75	○
	640	480	43.3	85	○
	720	400	31.5	70	—*1
SVGA	800	600	35.2	56	○
	800	600	37.9	60	○
	800	600	46.9	75	○
	800	600	48.1	72	○
XGA*2	1024	768	48.4	60	○
	1024	768	56.5	70	○
	1024	768	60	75	○
WXGA*2	1280	768	47.4	60	○
	1280	768	47.8	60	○

Sync on Green/Composite Syncには対応していません。
パソコンの垂直周波数が60Hz以外のときには、画面にノイズが出たり、動画の動きが不自然になったりすることがあります。このような場合は、パソコンの出力を60Hzに切り換えてのご使用をおすすめします。

*1 VGAとして対応しています。
*2 ノーマルモードに対応していません。

PC入力時の画面表示について

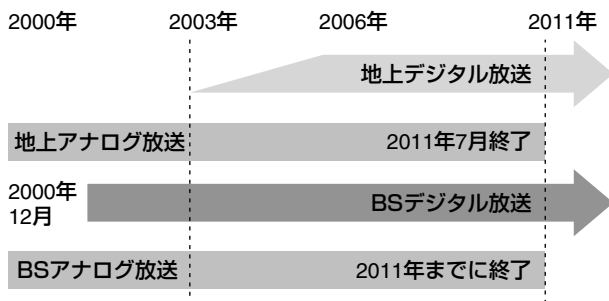
「画面サイズ」が「ズーム」以外の場合、PC入力の映像は有効画面に表示され、周辺に黒枠がつきます（☞52ページ）。

デジタル放送について

地上デジタル放送について

アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタルは、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より放送開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。地上アナログは2011年7月*に、BSアナログは2011年*までに放送が終了することが、国の方針として決定されています。

* 2004年12月現在の情報です。

アンテナについて

地上デジタルを受信するには、UHFアンテナが必要です。

現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタルを受信できます。

ただし、地上デジタルのチャンネルによってはアンテナなどの交換や調整が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

なお、ケーブルテレビで受信·視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

ケーブルテレビについて

地上デジタルは、ケーブルテレビでも受信·視聴できます。

お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタルが放送開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機はパススルー方式のすべての周波数に対応しています。

BS•110度CSデジタル放送について

- 高画質·高音質で、各種テレビ放送·データ放送·ラジオ放送が楽しめます。
- BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは受信契約が別途必要です。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)について

デジタル放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用します。
  B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を視聴できません。
- 2004年4月からデジタル放送には、「一回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。詳しくは、「録画制限と著作権保護について」(☞57ページ)および録画機器の取扱説明書をご覧ください。

1つの放送局でのマルチ放送について

地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号HDの1チャンネル放送と、標準テレビ信号SDの複数チャンネル(2～5チャンネル)放送を、右の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で同じ番組が放送されます(イベント共有)。時刻別番組表(☞16ページ)を見るときや、チャンネル+/−ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。

HD デジタルハイビジョン信号

SD 標準テレビ信号

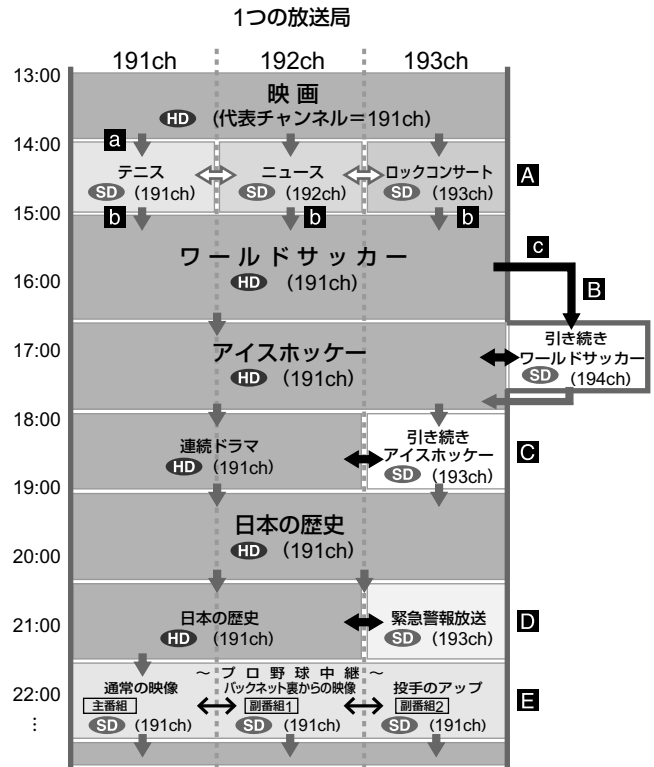
➡ 自動的に切り換わる

⇨ チャンネル+/−ボタンで切り換える

⬌ 数字ボタンでチャンネル番号を入力して切り換える

→ 映像切換ボタンで切り換える

右記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

1つの放送局
191ch 192ch 193ch
13:00 映画 HD(代表チャンネル=191ch)
14:00 a テニス SD(191ch) ニュース SD(192ch) ロックコンサート SD(193ch) A
15:00 b b b
ワールドサッカー HD(191ch) c
16:00 B
17:00 アイスホッケー HD(191ch) 引き続き ワールドサッカー SD(194ch)
18:00 連続ドラマ HD(191ch) 引き続き アイスホッケー SD(193ch) C
19:00 日本の歴史 HD(191ch)
20:00
21:00 日本の歴史 HD(191ch) 緊急警報放送 SD(193ch) D
22:00 ～プロ野球中継～ 通常の映像 主番組 SD(191ch) バックネット裏からの映像 副番組1 SD(191ch) 投手のアップ 副番組2 SD(191ch) E

A 複数のチャンネルで違う番組を同時に放送
[マルチチャンネル放送]
上の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時間帯に放送します。
a マルチチャンネル放送開始/b マルチチャンネル放送終了

B 延長した番組を最後まで放送
[臨時放送]
上の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組のアイスホッケーを放送します。
c 臨時放送開始

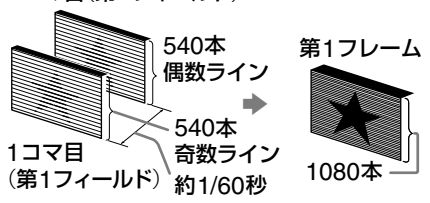
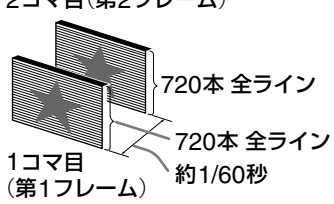
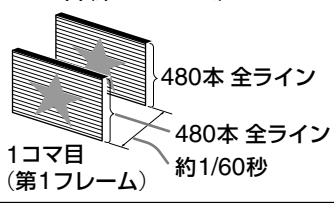
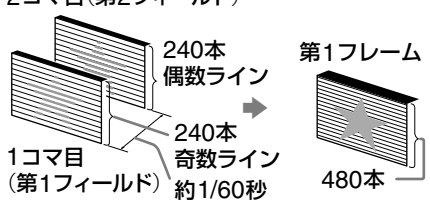
C 他のチャンネルで引き続き放送
[イベントリレー]
放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送を行うときは、お知らせが表示されます。見るときは、「選局する」を選んでください。時間になると自動的に切り換わります。

D 地震などの災害時に特別番組を放送
[緊急警報放送]
警戒警報や津波警報が発令されたときなどは、別チャンネルで緊急警報放送を行っていることの案内が表示されます。見るときは、「はい」を選んでください。

E さまざまな角度から番組を放送
[マルチビュー放送]
上の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向(通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ)の画面を、映像切換ボタンで切り換えて見ることができます。

雨天など受信状態が悪いときのBS・110度CSデジタル放送[降雨対応放送]
お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように、メニューの「降雨対応放送受信」が「オート」に設定されています。

次のページにつづく ⇨

ちょっと一言

降雨対応放送に切り換わらないようにするには

「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS・CSデジタル設定」→「降雨対応放送受信」→「切」の順に選ぶ。

デジタル放送について（つづき）

画像について

下記のように**全部で4種類の画像方式があります。**

画像方式	説明
1125i（1080i）のデジタルハイビジョン信号 HD	1125本（1080本）の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式*）画像方式。 2コマ目（第2フィールド） 540本 偶数ライン 第1フレーム 540本 奇数ライン 1コマ目（第1フィールド） 約1/60秒 1080本
750p（720p）のデジタルハイビジョン信号 HD	750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式*）画像方式。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。 2コマ目（第2フレーム） 720本 全ライン 720本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
525p（480p）の標準テレビ信号 SD	525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*）画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。 2コマ目（第2フレーム） 480本 全ライン 480本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
525i（480i）の標準テレビ信号 SD	525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（インターレース方式*）画像方式。地上アナログやBSアナログと同等の解像度です。 2コマ目（第2フィールド）

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数*で数えたときの別称です。
*の詳しい説明は、用語集（☞78ページ）をご覧ください。

音声について

デジタル放送には、次のような音声モードがあります。

音声モード	説明
モノラル	通常のニュース放送などに使われています。
ステレオ	音楽番組などに使われています。
3/1サラウンド 3/2サラウンド 5.1サラウンド	映画などに使われています。
圧縮Bモード	CDと同等の高音質になります。モノラルやステレオ、サラウンドが圧縮Bモードで送信されるときは番組説明（☞21ページ）に「圧縮Bモード」と表示されます。

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。

本機のスピーカーから聞こえる音声

5.1chサラウンドなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。

録画制限と著作権保護について

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されております

● **録画禁止**

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためデジタル録画できません。地上デジタルやBSデジタルの無料放送は、VHSなどのアナログ録画機器で録画できますが、BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは、番組によってアナログ録画できない場合があります。

● **1回だけ録画可能**

「1回だけ録画可能」な番組は、著作権保護技術に対応した録画機器及び記録メディアにてデジタル録画できます。しかし、デジタル録画した番組を更にデジタル録画(コピー)することはできません。VHSなどのアナログ録画機器では録画に制約はありません。

● **録画可能**

個人的に利用される場合に限って、制限なしに録画可能です。

番組説明(☞21ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

「1回だけ録画可能」な番組の録画について

録画機器	接続方法	録画制限
DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなど	アナログ接続(映像・音声コード)	録画可能[*1]
VHSなど	アナログ接続(映像・音声コード)	録画可能

[*1] DVDレコーダーでは、CPRM対応の録画用DVD-RWディスクを使用して、VRモードでのみ録画できます。また、CPRM対応のDVD-RAMディスクを使用して録画できます。

アナログ接続で録画するときの録画制限について

本製品は、マクロビジョン社が保有する米国特許及びその他知的財産権によって保護されている著作権保護技術を採用しております。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部観賞用の使用に制限されています。分解、解析したり、改造することも禁じられております。

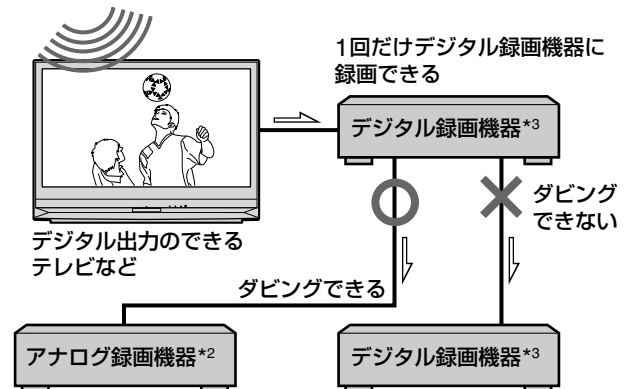
録画防止機能について

本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりすることがあります。また、本機の映像信号を、録画機器を経由して外部モニターに出力すると、録画防止機能のため画像が乱れる場合があります。その場合、本機の映像出力端子から外部モニターに直接接続してください。

光デジタル音声出力における録音制限について

著作権が保護されている番組では、光デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

> あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

「1回だけ録画可能」の例

[*2] VHS、8mmなど
[*3] DVDレコーダー、ハードディスクレコーダー、D-VHSなど

修理に出す前に

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビの型名:

KDF-42E1000（ケーディーエフ イー）

KDF-50E1000（ケーディーエフ イー）

画面サイズ(番号)がどれかわからないときは、保証書や本機前面に記載されている型名をお知らせください。

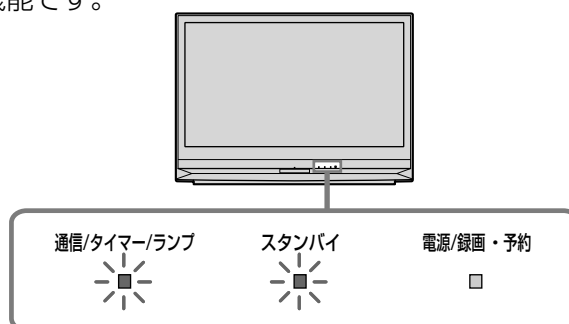
リモコンの型名:

RM-JD004（アールエム ジェイディ）

故障の状況:できるだけくわしく

購入年月日:

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のランプの点滅の回数により本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。

本機前面のスタンバイランプの点滅とその回数を確認してください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。

本機前面のスタンバイランプが赤く3回点滅したときは

本機右側面のランプカバー内のランプのフタまたはランプの取り付けが不完全です。正しく取り付けられているか確認してください。

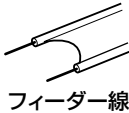
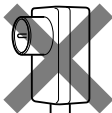
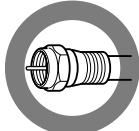
本機前面のスタンバイランプが赤点滅3回以外で点滅し続けているときは

点滅回数を確認してから本機の電源スイッチで主電源を切り、電源プラグを抜いて、ソニーサービス窓口に点滅の状態をお知らせください。内容によっては、修理が必要な場合があります。

本機前面の「通信/タイマー/ランプ」ランプが赤く点滅しているときは

光源用ランプが切れています。新しいランプと交換してください(☞74ページ)。

映像

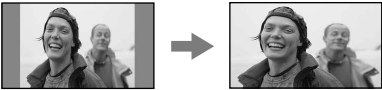
デジタル放送に特有の内容は、「デジタル放送」(☞63ページ)をご覧ください。

画像が出ない

症状	対処のしかた
すべてのチャンネルが映らない。(電源が入らない。電源がときどき切れる。)	• 電源コードを壁のコンセントにしっかりつないでください。 • 本体の電源スイッチを押して、主電源を入れてください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。 • 電源を切って約5秒以上たってから、再び電源を入れようとしても、緑色の電源/録画･予約ランプが点滅し、すぐに画像や音声は出ません。画像や音声が出るまで数十秒お待ちください。これは、光源用ランプの負担を軽くし、光源用ランプの不必要な消耗を防ぐためです。電源を切って約5秒以内に、再び電源を入れたときは、すぐに画像や音声が出ます。
特定のチャンネルだけが映らない。	• チャンネルを合わせ直してください(☞「設置･接続編」の「準備6:地上アナログ放送の設定をする」→「自動でチャンネルを設定する」)。
本機の電源が突然切れた/いつのまにか消えていた(電源スタンバイ状態になった)。	• オートシャットオフが働いていませんか?(☞47ページ) • オフタイマーを設定していませんでしたか?(☞46ページ) • 「無操作電源オフ」を設定していませんか?(☞47ページ) 「無操作電源オフ」を「切」にしてください。 • オンタイマーを利用して電源を入れたあと、無操作の状態が1時間続くと、電源スタンバイになります。 • 光源用ランプが切れていませんか?リモコンで電源を入れて、ディスプレイの「通信/タイマー/ランプ」ランプが赤く点滅するときは、光源用ランプを交換してください(☞74ページ)。 • 本機は機内温度が上がると自動で電源が切れます。排気口や吸気口にほこりがたまっていないか確認してください。また、高地でお使いのときは、機内温度が上がりやすいので、「高地モード」を「入」にしてください(☞49ページ)。
つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換ボタンを押してください。 • S映像入力のときは、「オートS映像」を「入」にしてください(☞50ページ)。
パソコンの画像が出ない。	• 接続するパソコンの種類によっては、画像が表示されない場合があります。パソコンの設定を変更して、PC入力対応信号表(☞53ページ)にある信号を出力するようにしてください。 パソコンの設定方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

きれいに映らない

症状	対処のしかた
画像が二重、三重になる。	• 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるか確認してください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 • 「GR設定」(ゴースト･リダクション)を「入」または「切」にしてください。 「セットアップ」→「アナログ放送設定」→「GR設定」の順に選ぶ。 • ゴースト･リダクションが働くのは地上アナログ放送のみです。録画機器の再生映像など、本機につないだ機器の映像には働きません。 • ゴースト･リダクションは、チャンネルを切り換えたあと数秒してから働きます。働いているときに画像が一瞬またたくことがありますが、故障ではありません。 • 受信している電波が弱いときは、ゴースト･リダクションに時間がかかることがあります。 • チャンネル微調整を行ってください(☞「設置･接続編」の「準備7:地上アナログ放送のチャンネル設定をする」→「チャンネルの受信状態を最適化する」)。

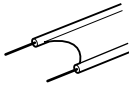
困ったときは

次のページにつづく ⇨

映像(つづき)

きれいに映らない(つづき)

症状	対処のしかた
チャンネルを切り換えたときに画面が一瞬乱れる。	• ゴースト・リダクションは、チャンネルを切り換えたあと数秒してから働きます。働いているときに画像が一瞬またたくことがありますが、故障ではありません。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	• 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるか確認してください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナが壊れたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください(通常3 ～ 5年、海辺では1 ～ 2年)。
斑点や点模様が走る。	• 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるか確認してください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。 • ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• 画質モードを設定してください(☞40ページ)。 • 画質を調整してください(☞40ページ)。
画面に光る点、または光らない点がある。 輝点・滅点	• 液晶プロジェクションテレビの映像は微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合がありますが、故障ではありません。
画面がまぶしい。	• 画質モードを設定してください(☞40ページ)。
ノイズが多い。	• 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるか確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにご相談ください。 フィーダー線 • プラスチック製のアンテナアダプターはノイズが入りやすいので、付属のF接栓型アンテナケーブルを使ってください。 プラスチック製のアンテナアダプター　F接栓型アンテナケーブル

きれいに映らない（つづき）

症状	対処のしかた
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	● ビデオと本機が近いため、干渉しあっています。ビデオを本機からできるだけ離して置いてください。
画面がぼやけている。	● 気温の低い部屋でご使用になっていませんか?結露しているかもしれません。部屋が暖まるまで、そのまましばらくお待ちください。自然に直ります。
ビデオの再生/録画時に映像が乱れたり、映らなくなる。	● 映像信号変換機能がついた機器（AVアンプなど）を使用して、通常の映像信号（コンポジット映像信号）またはS映像信号をコンポーネント映像信号に変換して本機に接続した場合、映像信号の状態によっては映像が乱れたり、映らなくなることがあります。このようなときは、通常の映像信号（コンポジット映像信号）またはS映像信号を直接本機のビデオ入力に接続してください。
BS・110度CSや外部入力の映像、メニューの画面など全ての映像が二重に映っていたり、色がずれていたりする。	● 「セットアップ」メニューで「各種設定」を選び、「イメージシフト（二重画補正）」を最適な状態に設定してください（☞51ページ）。

ワイド画面が切り換わる

症状	対処のしかた
画面モードが勝手に切り換わる。 映像が上下に動く。 例	● オートワイドが働いていませんか？（☞44ページ） 「オートワイド」が「1」または「2」のときは、本機が最適な画面を判断しているためです。お買い上げ時は「オートワイド」は「1」に設定されています。 気になるときは「オートワイド」を「切」にしてください。 ● CMが入ったり、番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適な画面を本機が判断しているためです（☞45ページ）。 ● 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞45ページ）。
画像の横縦比がおかしい。	● 本機から録画した16:9の映像を、画面の横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き伸ばされて出力されます。

画面が光る

症状	対処のしかた
電源を入れていないときに、画面が光っている。	● スクリーンに直射日光や照明などの強い光が当たると、プロジェクションテレビの構造上、本機内部で光が反射して、画面の一部が白っぽく見えることがありますが、故障ではありません。

音声

音が出ない/雑音が多い

症状	対処のしかた
画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。 ● 「スピーカー出力」が「切」になっていませんか？ 「入」にしてください(☞43ページ)。 ● パソコンをつないでいるときは、パソコン側でも音量の調整を行ってください。
雑音が多い。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにご相談ください。 フィーダー線 ● 「オートステレオ」を「切」にしてください。 「セットアップ」→「アナログ放送設定」→「オートステレオ」→「切」の順に選ぶ。
聞きたい音声になっていない。	● 二か国語放送などで、副音声や第2音声(デジタル放送のみ)になっていませんか？音声切換ボタンを押して、切り換えてください(☞24ページ)。

本機から異音がする

症状	対処のしかた
「ピシッ」というきしみ音が出る。	● 電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。	● 故障ではありません。これはデジタル放送からのデータを取得するために本機の電源が自動的に入るためで、本機に影響はありません。(このとき「通信/タイマー/ランプ」ランプが点滅します。)(☞71ページ)
電源を入れたときに「カチッ」という音がする。	● 電源を入れたときに、内部の回路が働くため音がしますが、故障ではありません。
「ブーン」という音がする。	● 本機内部の冷却用のファンが回っている音です。故障ではありません。 ● 本体の電源スイッチやリモコンで電源を切ると、冷却用のファンが約2分間回り続けます。
冷却用のファンの音が気になる。	● 「高地モード」(☞49ページ)を「入」にして使用しているときは、冷却用のファンの回転速度が上がります。 設置する場所によっては、冷却用のファンの音が気になることがありますが、故障ではありません。

デジタル放送

デジタル放送が映らない/乱れる

症状	対処のしかた
デジタル放送のチャンネルが映らない。	● B-CASカードは挿入されていますか？（☞「設置・接続編」の「準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を入れて登録する」） ● B-CASカードの向きは正しいですか？（☞「設置・接続編」の「準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を入れて登録する」） ● 強風などで設置したアンテナの向きが変わっていませんか？アンテナの向きを調整してください。
チャンネル＋/－ボタンで選局できない。	● お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）内で順送りに選局します。ご覧になっている放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）と放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）をご確認ください。 ● 「チャンネル登録」で、チャンネル＋/－ボタンで選局できるチャンネルを設定できます。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「チャンネル登録」の順に選ぶ。 ● 複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているとき（イベント共有）は、代表チャンネルのみが選局できます（☞55ページ）。
画面が黒くなり何も映らない。	● ラジオ放送を選んでいませんか？音声のみのラジオ放送のときは映像は出ません。
デジタル放送のチャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	● デジタルハイビジョン信号HDと標準テレビ信号SDなど映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。
地上デジタルの受信設定ができない/放送を受信できない。	● アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビを受信しているかを確認してください。 ● 地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかをご確認ください。
地上デジタルが映らない/画像が乱れている。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● 地上波アンテナの位置・方向・角度を調整してください（☞「設置・接続編」の「準備8：地上デジタル放送の設定をする」→「地上デジタルのアンテナレベルを確認する」）。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがありますのでご確認ください。 ● 県域設定は正しいですか？地域によって放送が異なります。必ず、「チャンネルスキャン」の前に「県域設定」を行ってください。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「地域設定」→「県域設定」の順に選ぶ。 ● 「チャンネルスキャン」で「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「地上デジタル設定」→「チャンネルスキャン」の順に選ぶ。 ● ブースターのレベルを上げて信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。

次のページにつづく ⇨

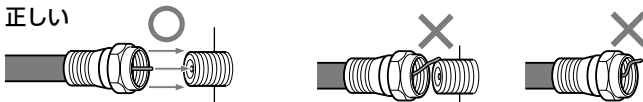
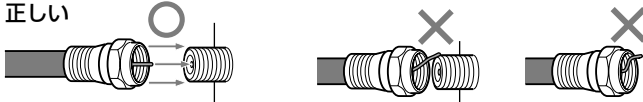
デジタル放送(つづき)

デジタル放送が映らない/乱れる(つづき)

症状	対処のしかた
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	● 地上デジタルの各放送局を一定時間視聴すると、放送局のマークが表示されます。
BSデジタル・110度CSデジタルが映らない/画像が乱れている。	**衛星アンテナを直接つないでいる場合** ● 衛星アンテナはデジタル放送受信に対応していますか? ● 衛星アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● 衛星アンテナに雪が付着していませんか? ● 衛星アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ●「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてください。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS・CSデジタル設定」→「衛星アンテナ設定」の順に選ぶ。 ● 衛星アンテナの方向・角度を調整してください(☞「設置・接続編」の「準備10:BS・110度CS(CS1、CS2)デジタル放送の設定をする」→「衛星(BS・110度CSデジタル)アンテナの向きを調整する」)。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ● サテライト/UV分波器でVHF/UHFとBSデジタル・110度CSデジタルを分波してください(☞「設置・接続編」の「準備2:地上波アンテナをつなぐ」)。 ●「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS・CSデジタル設定」→「衛星アンテナ設定」→「切」の順に選ぶ。 **複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合** ● 衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、お住まいの地域が晴れていても、BSデジタル・110度CSデジタルを送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● サテライト専用の同軸ケーブルを使ってください。 ● 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約(加入申し込み)をしていますか?
BSデジタルは映るのに110度CSデジタルが映らない。	● アンテナや分配器、ブースターなどが110度CSデジタルに対応していますか?詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。 ● BSアナログチューナー内蔵のビデオからアンテナケーブルをつないでいませんか?分配器を使って本機とBSアナログチューナー内蔵ビデオにそれぞれつないでください(☞「設置・接続編」の「準備3:衛星(BS・110度CSデジタル)アンテナをつなぐ」)。 ●「衛星アンテナレベル」を確認してください。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS・CSデジタル設定」→「衛星アンテナレベル」の順に選ぶ。 ● 110度CSデジタル放送をご覧になるには受信契約が必要です。
BSデジタル・110度CSデジタルの映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。	● 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り換わる場合があります。頻繁に切り換わるときは、「降雨対応放送受信」を「切」にしてください(☞55ページ)。

デジタル放送の音声が乱れる/おかしい

症状	対処のしかた
音声が出ない/音声がおかしい。	● 二か国語放送などで、副音声や第2音声(デジタル放送のみ)になっていませんか? 音声切換ボタンを押して、切り換えてください(☞24ページ)。 ● 「サラウンド」を「切」にしてください(☞43ページ)。 「TruSurround 5.1」にしていると、番組によっては、音が聞こえにくかったり、消えてしまったりすることがあります。
二か国語が混じって録画機器に録音されていた。	● デジタル放送/ビデオ出力端子につないだ録画機器に録画するときは、あらかじめ「二重音声設定」を設定してください(☞「設置･接続編」→「録画するための接続」→「録画･予約をするための設定をする」)。 「主/副」を選んだ場合、録画機器で再生するときは録画機器のリモコンで聞きたい音声を選んでください。

BSデジタル･110度CSデジタル番組の購入などができない

症状	対処のしかた
ペイパービュー(有料番組)が購入できない。	● 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください(☞「設置･接続編」の「準備4:電話回線につなぐ」)。 ● 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください(☞「設置･接続編」の「準備13:電話回線を設定する」)。 ● ネットワーク(LAN)ケーブルをつないで、ネットワーク設定を行っていてもペイパービューは購入できません。電話回線の接続が必要です。 ● 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。 ● 番組の購入可能件数を超えると購入できなくなります。

番組表や他チャンネルリストに表示されないチャンネルや番組がある

症状	対処のしかた
番組表や他チャンネルリストに表示されないチャンネルがある。	● 番組表や他チャンネルリストを表示しているときに、ツールボタンを押して「番組情報取得」を選んでください(☞17、20ページ)。番組情報を取得し直します。 ● 「チャンネル登録」で、番組表や他チャンネルリストに表示されるチャンネルを設定できます。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「チャンネル登録」の順に選ぶ。
番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。	● 番組表を表示しているときに、ツールボタンを押して「番組情報取得」を選んでください(☞17ページ)。番組情報を取得し直します。
検索をしたときに表示される番組数が少ない。	● お買い上げ時、または長時間本体の電源スイッチで主電源を切った状態のときは、次に電源スイッチを押して主電源を入れたあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。本機では、主電源を切っているときは放送局が送信する番組情報のデータを取得できないためです。
ジャンル検索した番組のジャンルが番組説明で表示されるジャンルと違っている。	● 番組説明(☞21ページ)では、代表的なジャンルが1つしか表示されませんが、1つの番組が複数のジャンル情報を持っていることがあり、それぞれのジャンルで検索できるためです。

次のページにつづく ⇨

デジタル放送（つづき）

番組表や他チャンネルリストに表示されないチャンネルや番組がある（つづき）

症状	対処のしかた
キーワード検索ができない。	● キーワード検索はデジタル放送の番組情報データの「番組概要」（☞21ページ）から検索するため、「番組概要」にキーワードが含まれていないときは検索できません。「番組概要」と合致したキーワードを登録してください（☞19ページ）。 ● キーワードの文字と「番組概要」の文字が完全に一致していないと、番組を検索できません。英数、半角/全角の違いやスペースも文字として検索するため、「番組概要」と合致したキーワードを登録してください（☞19ページ）。

電源/録画・予約ランプが緑色に点滅する/表示が消えない

症状	対処のしかた
電源/録画・予約ランプが緑色に点滅する。 または、「取扱説明書をご覧いただき、衛星アンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」と表示される。	**衛星アンテナをつないでいる場合** ①本体の電源スイッチで電源を切り、「設置・接続編」の「準備3：衛星（BS・110度CSデジタル）アンテナをつなぐ」を見て、サテライト用同軸ケーブルの芯線がBS・110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 ②本体の電源スイッチで電源を入れて、表示が消えているか確認してください。表示が消えないときは、本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。 ③表示が消えたときは、「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてから、もう1度受信設定してください。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS・CSデジタル設定」→「衛星アンテナ設定」の順に選ぶ。 **マンションなど共同受信システムの場合** ①本体の電源スイッチで電源を切り、「設置・接続編」の「準備3：衛星（BS・110度CSデジタル）アンテナをつなぐ」を見て、サテライト用同軸ケーブルの芯線がBS・110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 ②本体の電源スイッチで電源を入れて、「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください。 「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS・CSデジタル設定」→「衛星アンテナ設定」→「切」の順に選ぶ。 ③それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

録画予約

録画予約した番組が録画できない

症状	対処のしかた
録画予約した番組が録画されない。	● 本機につないだ録画機器側の入力を確認してください。 ●「デジタル放送設定」の「録画方法」を「シンクロ録画」に設定しているときは、本機で録画予約した場合のみ本機後面のデジタル放送/ビデオ出力端子から映像信号が出力されます。見ている番組を録画したいときは、必ず、「いますぐ録画」(☞30ページ)で録画してください。 ● 録画予約した番組の開始時刻が変わったとき、「流動編成･イベントリレー対応設定」が「しない」に設定されていると、正しく録画できません。番組の変更に合わせて録画するには、「流動編成･イベントリレー対応設定」を「する」に設定してください(☞「設置･接続編」の「録画するための接続」→「録画･予約をするための設定をする」)。 ● 録画予約が重複しているときは、ペイパービュー(☞25ページ)は、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます(☞33ページ)。 ● 著作権が保護されている番組では、録画できない場合があります(☞57ページ)。 ● 実行履歴一覧で、録画されなかった理由を確認してください(☞35ページ)。 ● 受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わっていることがあります。予約した番組のチャンネル番号が変わっていると、録画ができないことがあります。
シンクロ録画を使って録画予約した番組が録画されない。	●「デジタル放送設定」の「録画方法」を「シンクロ録画」に設定しているときは、本機で録画予約した場合のみ本機後面のデジタル放送/ビデオ出力端子から映像信号が出力されます。見ている番組を録画したいときは、必ず、「[いますぐ録画]」(☞30ページ)で録画してください。 ● 本機と録画機器をS映像コードでつなぐときは、録画機器側の映像入力の設定をしてください。

困ったときは

次のページにつづく ⇨

録画予約（つづき）

録画予約した番組が録画できない（つづき）

症状	対処のしかた
AVマウスを使って録画予約した番組が録画されない。	● AVマウスの取り付け位置は正しいですか？ ● 動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度の低い録画機器によっては、AVマウスでの録画予約がうまくいかないことがあります。 ● リモコンコードは正しく設定できていますか？（☞「設置・接続編」の「録画するための接続」→「AVマウスを設定する」） お使いの録画機器によってはリモコンコードを設定できないことがあります。 ● お使いの録画機器のメーカー名とリモコンコードが正しく入っていて、AVマウスで操作できるか動作確認してください。 ● 次の機器ではAVマウスは使えません。シンクロ録画に対応している機器はシンクロ録画を行ってください。シンクロ録画に対応していない機器は録画機器の予約機能を使って録画してください。 － ビデオ一体型テレビ（テレビデオやビデオコンボなど）のとき － AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき（メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです。） ● お使いの録画機器は、電源スイッチを押すたびに電源が入/切するタイプですか？入→スタンバイ→切のように切り換わるタイプの録画機器では、正しく録画できないことがあります。 ● 録画予約後、開始時刻までに本体の電源スイッチで主電源を切っていると、電源が入らないため、録画が実行されません。 ● 録画予約の際、録画機器の電源を「切」にしましたか？ ● 録画機器の入力切換は正しいですか？ ● ソニー製のDVDレコーダーやハードディスクレコーダー、ブルーレイディスクレコーダーなどで録画するときは、自動的に本機をつないだ入力に切り換わるように設定してください（☞「設置・接続編」の「録画するための接続」→「AVマウスを設定する」）。 ● 本機と録画機器をS映像コードでつなぐときは、録画機器側の映像入力の設定をしてください。 ● 地上アナログは録画予約できません。お使いの録画機器の予約機能を使って録画してください。
見ている映像が録画できない。	● 次の映像や音声は、デジタル放送/ビデオ出力端子からは出力されません。 － コンポーネント入力端子につないだ機器からの映像・音声信号 － PC入力端子につないだ機器からの映像・音声信号 － 字幕放送の字幕 － デジタル放送のラジオやデータの画像（音声は出力され記録できます） － S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ1入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。 ● 「デジタル放送設定」の「録画方法」を「シンクロ録画」に設定しているときは、本機で録画予約した番組以外は録画できません。
録画予約した番組の再生した映像が映らない、乱れる。	● 実行履歴一覧で、録画時の状況を確認してください（☞35ページ）。

メニューやリモコン

メニューが選べない/表示が消えない

症状	対処のしかた
設定したメニューの項目が正しく反映されていない。	● デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後(約2分以内)に、本体の電源スイッチで主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう1度設定し直してください。
「B-CASカードとのアクセスが成立しません　B-CASカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください」と表示される。	● B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう1度正しい向きで入れ直してください(☞「設置・接続編」の「準備1:B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録する」)。 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のカスタマーセンターへお問い合わせください(☞「設置・接続編」の「準備12:各放送局に視聴を申し込む」)。 ● B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のカスタマーセンターまたはB-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。 ● 付属のB-CASカード以外は使えません。
「展示モード」または「展示モード:入」と表示される。	● 展示モードが「入」に設定されています。 個人情報の初期化(☞「設置・接続編」の「視聴年齢制限を設定する・個人情報を消去する」)を行うか、地上アナログ放送のチャンネルスキャン(☞「設置・接続編」の「準備6:地上アナログ放送の設定をする」→「自動でチャンネルを設定する」)を行ってください。
画面右下に✉が表示される。	● デジタル放送や本機から発行されたメールが来ています。メールの内容を確認してください(☞22ページ)。
画面右下に 「ランプの交換時期がきました ランプ交換をおすすめします」 と表示される。	● 光源用ランプの交換時期がきています。光源用ランプを交換し、ランプ設定を行ってください(☞50ページ)。

リモコンが働かない

症状	対処のしかた
リモコンで本機を操作できない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● スタンバイランプが赤色に点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンを本機のリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具または本機の位置を調整してください。 ● 近くに電子レンジがあるときは操作できないことがあります。 ● リモコンのふたを開いた状態のときは、ふたの上のボタンは働きません。

次のページにつづく ⇨

メニューやリモコン(つづき)

リモコンが働かない(つづき)

症状	対処のしかた
本機のリモコンで、つないだ機器を操作できない。	● VTRボタンまたはDVDボタンが赤色に点灯している間に次の操作を行ってください(☞38ページ)。 ● VTRボタンまたはDVDボタンには、正しいリモコンコードを登録しましたか?(☞37ページ) ● VTRボタンまたはDVDボタンに登録した機器と、機器をつないだ入力の登録は正しいですか?(☞38ページ)
リモコンの①～⑫/選局の数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ワンタッチ選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)に切り換えましたか?(☞12～14ページ) **10キー選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)に切り換えましたか?(☞12～14ページ) ● デジタル放送のときは、10キーを押してから数字ボタンを押しましたか? ● 地上アナログのときは、「選局」を「10キー」にしてください(☞12ページ)。 ● 地上デジタルのチャンネルでチャンネル番号に枝番があるときは、チャンネル番号を入力した後で、⑪/枝番を押してから枝番を入力してください(☞13ページ)。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 ● ①～⑩/0の数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

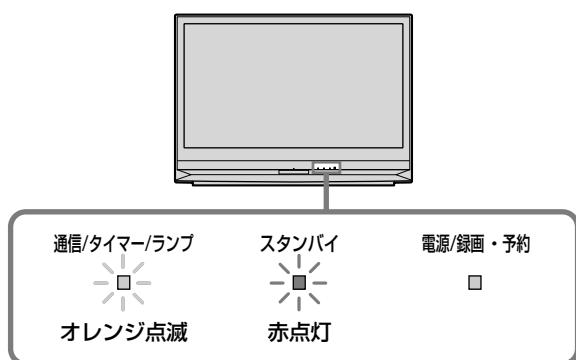
電源スイッチ以外のボタン操作で本機の電源が入る

症状	対処のしかた
リモコンの①～⑫/選局の数字ボタンやチャンネル+/−ボタン、消音ボタン、地上アナログ/地上デジタル/BS/CSボタンを押すと本機の電源が入る。	● 故障ではありません。電源スイッチ以外にも左記のボタンで本機の電源を入れることができます(☞24ページ)。

電源スタンバイ中のランプの点灯・点滅について

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤色に点灯)、以下のデータを受信したときに、「カチッ」と音がして、**本機前面の「通信/タイマー /ランプ」ランプが長時間にわたりオレンジ色に点滅し続けることがあります。**

－デジタル放送を正しく受信するためにデジタル放送から送られてくるデータの受信中および最新のソフトウェアのダウンロード中
－放送局が送信する番組表などの番組情報データ取得中
－放送局が送信する有料放送の契約・購入状況、双方向サービス情報の取得中

ダウンロード中/データ取得中の表示

「通信/タイマー /ランプ」ランプがオレンジ色に点滅しているときは、本機内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えを行っていますが、**受信するデータによっては数時間かかる**ことがあります。
データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、「通信/タイマー /ランプ」ランプも消灯します。

展示モードの表示について

お買い上げ時に本機の展示モードが「入」に設定されていることがあります。画面左下に「展示モード」または「展示モード：入」と表示されたときは、下記のいずれかの方法で展示モードを解除してください。

－個人情報の初期化を行う
☞「設置・接続編」の「視聴年齢制限を設定する・個人情報を消去する」

－地上アナログ放送のチャンネルスキャンを行う
☞「設置・接続編」の「準備6：地上アナログ放送の設定をする」→「自動でチャンネルを設定する」

ちょっと一言

光源用ランプが切れているときは、「通信/タイマー /ランプ」ランプが赤く点滅します(☞58ページ)。

ダウンロードの流れについて

自動でデジタル放送からダウンロードする機能について

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤色に点灯)に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、デジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定(「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」)になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に更新されたソフトウェアで、デジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、自動でダウンロードが行われます

条件1 衛星アンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっている。または、地上デジタルを安定して受信できている。

衛星アンテナレベルが20未満のとき、または地上デジタルが安定して受信できていないときは、ダウンロードが正しく行われません。衛星アンテナのときはアンテナの向きを調整して、受信レベルを20以上にしてください。地上波アンテナのときはお買い上げ店にご相談ください。

アンテナの受信レベルを確認するには

メニューの「地上デジタルアンテナレベル」および「衛星アンテナレベル」画面に表示されます。

衛星アンテナのときは、20以上であれば、ダウンロードが正しく行われます。

「地上デジタルアンテナレベル」画面を表示するには

「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「地上デジタル設定」→「地上デジタルアンテナレベル」の順に選ぶ。

「衛星アンテナレベル」画面を表示するには

「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS･CSデジタル設定」→「衛星アンテナレベル」の順に選ぶ。

条件2 「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」の設定*になっている。

「デジタル放送からのダウンロード」が「しない」に設定されていると、ダウンロードが行われません。

「デジタル放送からのダウンロード」を設定するには

「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「その他設定」→「デジタル放送からのダウンロード」→「オート」の順に選ぶ。

* お買い上げ時の設定です。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードを行わないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。**そのときは必ず本機を電源スタンバイ状態にしておいてください。**
- 本体の電源スイッチを押して主電源を切ると、ダウンロードは行われません。
- お買い上げ時は「地上デジタル設定」の「自動チャンネル変更」が「する」に設定されているため、新しく放送局が開設されたときなどは、ダウンロードによって受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わります。録画予約を設定しているときは、チャンネル番号が変わると正しく録画が行われないことがありますので、ご注意ください。
「セットアップ」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「地上デジタル設定」→「自動チャンネル変更」→「する」の順に選ぶ。

ダウンロードが行われるときは

デジタル放送からソフトウェア書き換え用のデータ信号を受信したときは、「**ダウンロードのお知らせ**」**のメールが届きます。**

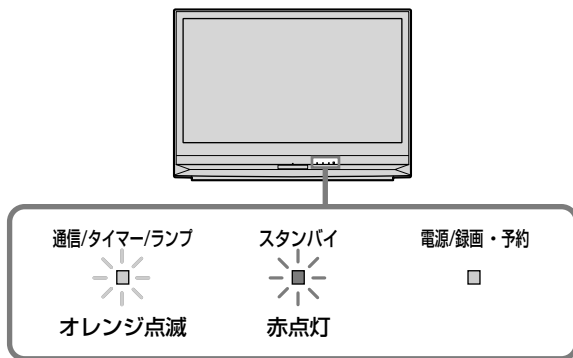
メールを確認するには

「✉お知らせ」→「本機からのメール」の順に選ぶ(☞22ページ)。

ダウンロードの実行中は

ダウンロードは電源スタンバイ時(スタンバイランプが赤色に点灯)にのみ、自動的に行われます。

電源スタンバイ中、数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。書き換えは、30分前後かかります(内容により時間は異なります)。

また、ダウンロード中は、本機前面の「通信/タイマー/ランプ」ランプが点滅します。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら?」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの?」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ダウンロード中に主電源を切るとどうなるの?」
ダウンロード中は、本体の電源スイッチで主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの?」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

バージョンアップが正常に終了すると

「ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、そのかわりに、「**バージョンアップ終了のお知らせ**」**のメールが届きます。**

メールを確認するには

「✉お知らせ」→「本機からのメール」の順に選ぶ(☞22ページ)。

ご注意

- ダウンロード中は、本機の電源を入れたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。
- ダウンロード中は、リモコンが働きません。

光源用ランプを交換する

光源用ランプについて

交換は定期的に

光源として使用しているランプは消耗品ですので、定期的な交換が必要です。使用時間の経過により映像が次第に暗くなり、最終的には不点灯状態になります。不点灯状態になるとき、まれに大きな破裂音がしてランプが割れることがあります。割れたランプを交換するときに、ガラス片がこぼれ落ちることがありますので、充分注意してください。

光源用ランプ交換時期の目安

ランプの交換時期の目安は、約8000時間です。
上記時間は、本機を常温にて通常使用した場合、画面の明るさが半減する時期の目安であり、ランプの交換時期はお客様の使用環境、使用条件によって異なります。
なお、上記時間は交換時期の目安であり、8000時間使用可能という保証ではありません。
ランプの交換時期が近づくと、本機の電源を入れたときに、画面にランプ交換を促すメッセージが表示されます。ランプが完全に切れてしまう前に、お近くのソニー商品取扱い販売店またはソニースタイルのホームページ(http://www.jp.sonystyle.com/Qnavi/visual.html)で、別売りランプユニットXL-2400を購入し、ランプ交換を行ってください。

光源用ランプ購入のお問い合わせ

ソニースタイルカスタマーセンター
TEL: 0466-38-1414
E-Mail: info@jp.sonystyle.com
受付時間: 祝日·年末年始を除く
月～金曜日　10時～ 18時
※上記電話番号からでも商品を購入できます。

また、ランプが完全に切れたときは、本機前面の「通信/タイマー /ランプ」ランプが赤く点滅します。

使用済みの光源用ランプついて

本機のランプの中には、水銀が含まれています。廃棄の際は、一般の廃棄物と一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

水銀についての注意

本機使用中にランプが破損したときは、排気口から排出されるガスに微量の水銀が混ざります。製品から離れて窓を開けるなどして換気を充分に行なってください。万一、この水銀を吸い込んだり、目に違和感を覚えたり、気分が悪くなったときは、速やかに医師にご相談ください。

下記の注意事項を守らないと、高温·火災などにより死亡や大けがになることがあります。

- 新しいランプは、**必ずランプユニットXL-2400をお使いください。**それ以外のものをお使いになると、故障の原因となります。
- **ランプ交換以外の目的でランプを取り出さないでください。**やけどや火災の原因となることがあります。
- ランプを交換する前に**必ず電源を切り、数分たってから電源プラグを抜いてください。**
  電源スイッチを切っても、約2分間は冷却用のファンが動いています。
- ランプ前面のガラス面などは、電源を切って30分たっても100度以上になっていることがあります。触るとやけどの原因となりますので、**充分冷えてからランプを交換してください。**
- **取り出したランプをお子様の手の届くところや、燃えやすい物の近くには置かないでください。**
- 取り出した**ランプに水などをかけたり、ランプ内部に異物を入れないでください。**ランプが破損する場合があり危険です。
- ランプを抜いたあとの**ランプ収納部**に金属類や燃えやすい物などの**異物を入れないでください。**火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますのでランプ収納部に**手を入れないでください。**

- **ランプは確実に取り付けてください。**正しく取り付けられていないと、画面が暗くなったり、火災の原因となることがあります。
- ランプからは強い光が出ます。目を痛める恐れがありますので、**本機内部を覗き込まないでください。**

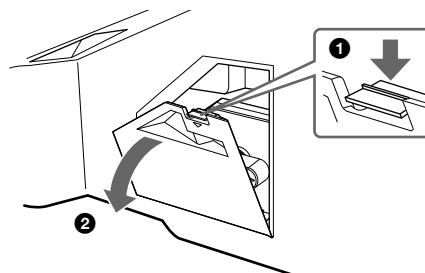
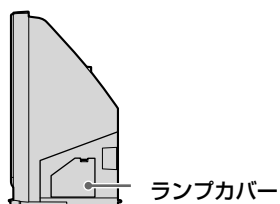
光源用ランプの交換のしかた

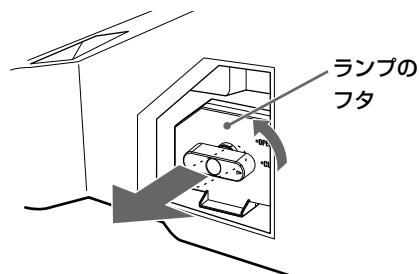
1 **本機の電源スイッチを切り、数分たってから電源プラグをはずす。**

電源スイッチを切っても、約2分間は冷却用のファンが動いています。
電源プラグは、電源スイッチを切って数分たってから抜いてください。ランプ交換は、電源プラグを抜いて30分以上たってから行ってください。
用意した交換用ランプをガラス部分に触れないように箱から出しておいてください。

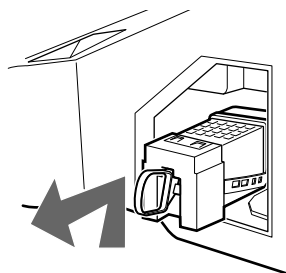
ご注意

交換用ランプを揺すったりしないでください。振動はランプを傷めたり、消耗を早める原因となります。

2 **本機右側面のランプカバーをはずす。**

❶ ランプカバーの▼マーク部分を押して、ロックを解除する。
❷ カバーを手前下に開いてはずす。

3 **ランプのフタをはずす。**

つまみをOPENの位置まで左にまわし、ランプのフタを手前に引く。

4 **ランプを取り出す。**

使用直後のランプは非常に高温になっています。ランプ前面のガラス面およびその周辺とランプ収納部のガラス部分には絶対さわらないようご注意ください。

フックに指をかけて、上に引き上げ、手前にまっすぐ引き出す。

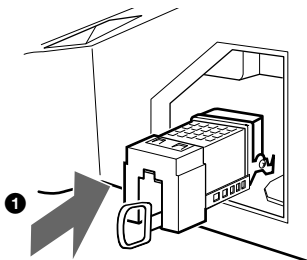
次のページにつづく ⇨

ご注意

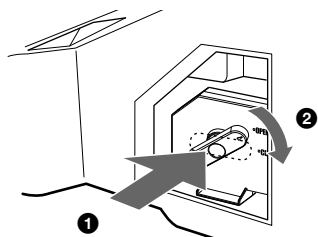
- ランプ前面のガラス面やランプ収納部のガラス部分には直接手で触れたり、汚したりしないでください。テレビの画質の悪化や、ランプの消耗を早める原因となります。
- 取り出したランプはすぐに交換用ランプの空き箱に収納してください。また、このときポリ袋の中には入れないでください。
- ランプを取り出したあと、ランプ挿入口の中に付着しているほこりを掃除機で吸い取ってください。

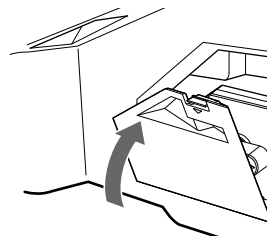
光源用ランプを交換する（つづき）

5 **新しいランプ（別売りランプユニット：XL-2400）を取り付ける。**

ランプは確実に取り付けてください。正しく取り付けられていないと、画面が暗くなったり火災の原因となることがあります。

❶ 図のようにフックを手前にして、奥まで押し込む。
❷ ランプユニットの両側面を持ち、手前に引いてロックがかかっていることを確認する。

6 **ランプのフタを取り付ける。**

ランプのフタは確実に取り付けてください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

❶ ランプのフタを取り付ける。
❷ つまみをCLOSEの位置までまわす。

7 **ランプカバーを取り付ける。**

8 **ランプ設定をする。**

ランプ交換後は必ずランプ設定を行ってください（☞50ページ）。ランプ設定は、次のランプ交換時期をお知らせするのに必要な設定です。

ご注意

- ランプのフタをしっかり取り付けていないと、自己診断機能が働き、本機前面のスタンバイランプが赤く3回点滅します（☞58ページ）。
- 新しいランプは、お近くのソニー商品取扱い販売店で別売りランプユニットXL-2400を購入してください。使用中のランプの寿命が来る前に新しいものをご用意ください。
- ランプ交換や電源プラグの抜き差しはていねいに行ってください。乱暴な取り扱いをすると、本機がスタンドなどから落下する恐れがあります。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： KDF-42E1000、KDF-50E1000
型名について詳しくは、☞58ページをご覧ください。

故障の状態： できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他

用語集

五十音順

ア行

イベントリレー（☞**55ページ**）

番組の開始時間がくり下がったときや、番組放送中に割り込みがあったとき、番組が放送時間内に終わらなかったときなどに、引き続き他のチャンネルで放送が継続されることです。

インターレース（**飛び越し走査**）（☞**56ページ**）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

緊急警報放送（☞**55ページ**）

地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

ケーブルテレビ（☞**54ページ**）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送（☞**55ページ**）

激しい雨による映像·音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

サ行

識別制御信号（☞**44ページ**）

識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
– デジタル放送の標準テレビ信号SD
– 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）
– D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

字幕放送（☞**24ページ**）

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

シンクロ録画（☞**29ページ**）

本機から録画する番組の信号が、録画機器の入力端子に入力されると、録画機器側で自動で録画を開始する機能です。

走査線（☞**56ページ**）

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

地上デジタル（☞**13ページ**）

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質·高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタル·リアリティー·クリエーション:マルチファンクション（**DRC-MF**）（☞**41ページ**）

地上アナログやビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少ないスッキリとした画像になります。また、映像によって、きめ細かく自然な映像にする「DRC高密度（標準）モード」と、チラツキを抑えた映像にする「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。

デジタルハイビジョン信号HD（☞**56ページ**）

デジタル放送の画像方式で、1125i（1080i）と750p（720p）があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ハ行

ビスタビジョン（☞**45ページ**）

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

標準テレビ信号SD（☞**56ページ**）

デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

プログレッシブ（**順次走査**）（☞**56ページ**）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ペイパービュー（**有料番組**）（☞**25ページ**）

「見るたびに支払う」という意味で、1回視聴するごとに購入する番組のことです。

マ行

マルチチャンネル放送(☞55ページ)

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する場合と、同じ放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う場合があります。

マルチビュー放送(☞55ページ)

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像切換ボタンで切り換えて見ることができます。

ヤ行

有効走査線数(☞56ページ)

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。地上アナログでは、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。BSアナログのハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン信号HDでは、1125本中1080本となっています。
なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線(映像信号の載っていない走査線)には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ行

臨時放送(☞55ページ)

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチチャンネル放送を利用した放送です。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

数字・アルファベット順

110度CS(CS1、CS2)デジタル(☞14ページ)

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。テレビ放送に加え、文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

5.1ch(チャンネル)(☞43、56ページ)

左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

AAC(☞43ページ)

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング(Advanced Audio Coding)」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)(☞54ページ)

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BSデジタル(☞14ページ)

2000年12月から始まった、放送衛星(BS)によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

ID-1方式(ビデオID-1システム)(☞45ページ)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

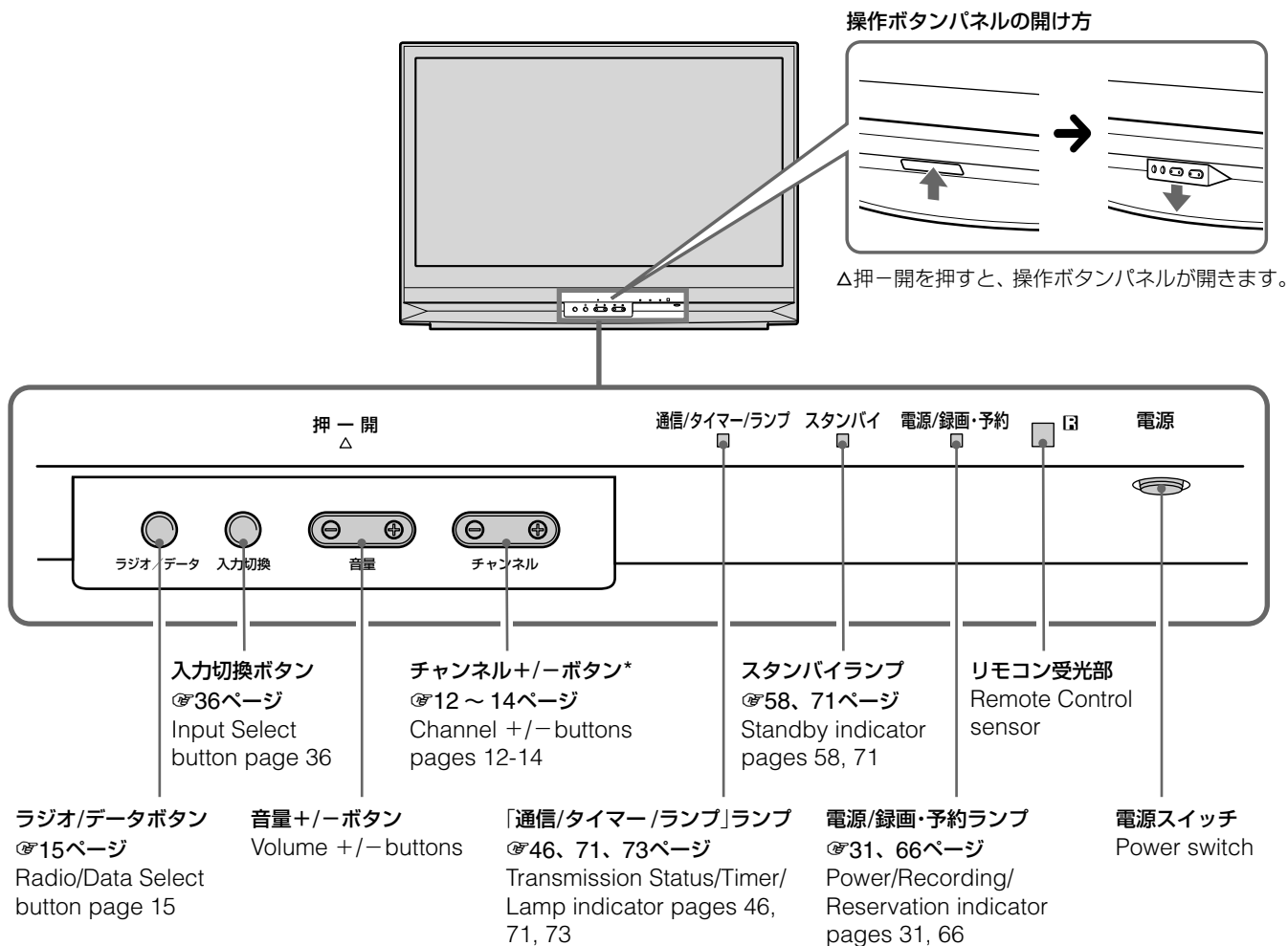
PCM(☞43ページ)

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス・コード・モジュレーション(Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

S2映像端子(S2方式)(☞45ページ)

S映像のC端子へ直流電圧を加算することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前
Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel

ご注意

リモコン受光部の前には物を置かないでください。

ちょっと一言

* の付いたボタン(チャンネル+ボタン)の上には、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

ランプの点灯について

主電源「切」のとき

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

電源が入っているとき

緑点灯

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

ダウンロード中（☞73ページ）/データ取得中（☞71ページ）

オレンジ点滅　赤点灯

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

衛星アンテナ電源のショートなど（☞66ページ）

電源を入れて30秒以上たっても緑点滅しているときのみです。
映像が出るまでの間は、同じように緑点滅して、電源が入ったことをお知らせします。

緑点滅

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

電源スタンバイ中（☞71ページ）

赤点灯

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

通信中（☞「設置・接続編」の「準備4：電話回線につなぐ」）

オレンジ点滅　緑点灯

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

自己診断表示（☞58ページ）

赤点滅

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

主電源「切」以外のときは、上記に加えて、次のランプも点灯します。

オフタイマー /オンタイマー作動中（☞46ページ）

オレンジ点灯

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

予約した録画の実行中（☞31ページ）

赤点灯

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

録画予約待機中

オレンジ点灯

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

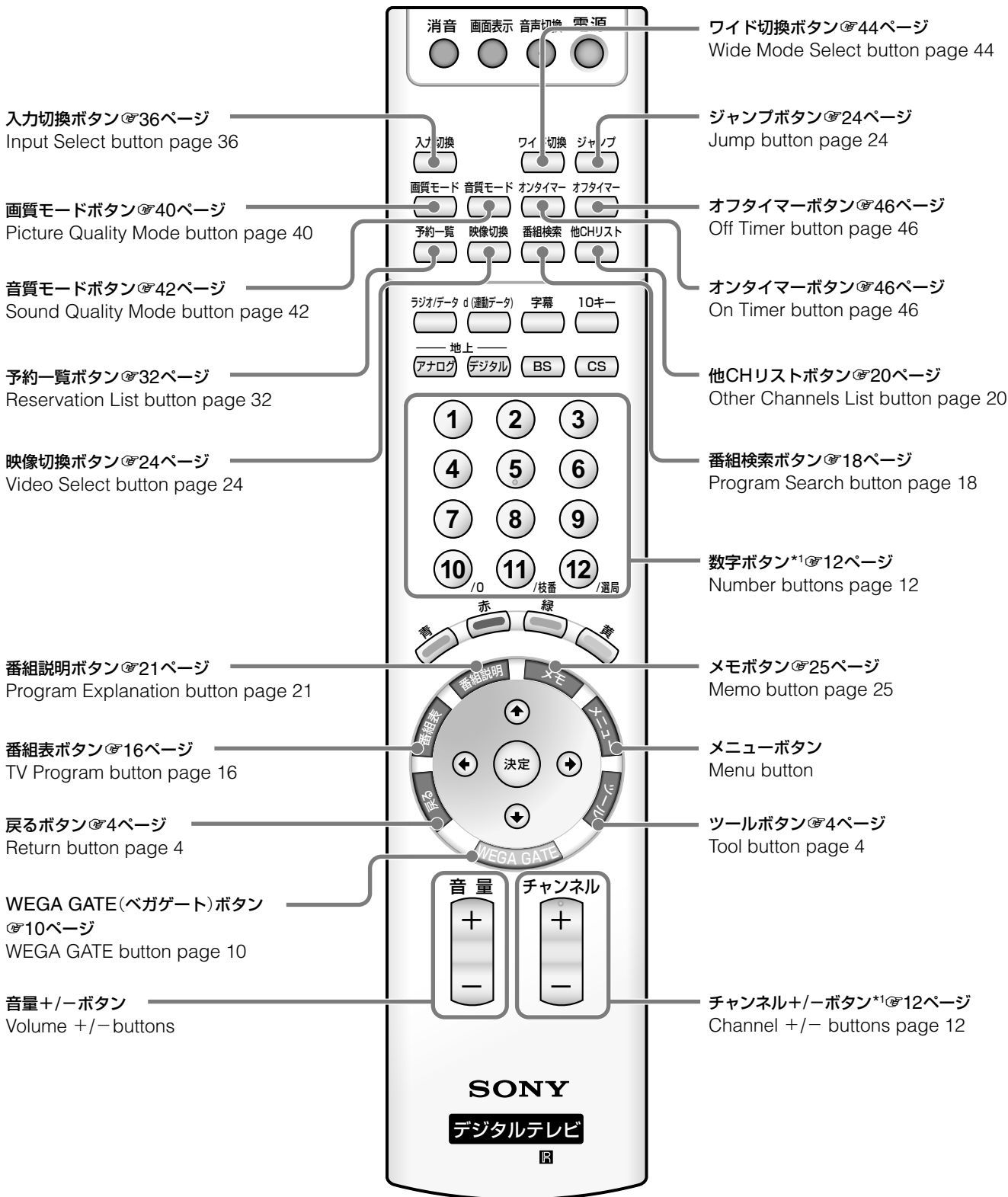
光源用ランプが切れているとき

赤点滅

通信/タイマー/ランプ　スタンバイ　電源/録画・予約

次のページにつづく ⇨

各部の名前　Identifying parts and controls（つづき）

リモコン/Remote Control

ちょっと一言

*1 の付いたボタン（数字ボタンの「5」、チャンネル＋ボタン）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

ちょっと一言

*2 の付いたボタン(音声切換ボタン)には、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

索引（操作・困ったときは編）

五十音順

あ行

アイリス ... 41
明るさ ... 41
圧縮Bモード ... 56
アドバンストアイリス ... 41
アフターサービス ... 77
イベントリレー ... 55
いますぐ録画 ... 30
イメージシフト ... 51, 61
色あい ... 41
色温度 ... 41
色の濃さ ... 41
色補正 ... 41
映像（困ったときは） ... 59
映像切換 ... 24
映像情報 ... 21
オートシャットオフ ... 47
オートS映像 ... 50
オートステレオ ... 62
オートワイド ... 44
　4:3映像 ... 44
　画面位置 上下 ... 44
　切 ... 44
　縦サイズ ... 44
　ワイド切換 ... 44
お知らせ ... 22
オフタイマー ... 46
音質調整 ... 42
音質モード ... 42
音声（困ったときは） ... 62
音声切換 ... 24
音声情報 ... 21
オンタイマー ... 46

か行

解像度 ... 53
外部機器入力設定 ... 38
各部の名前 ... 80
画質調整 ... 40
画質モード ... 40
カスタム ... 41
画面位置左右 ... 44
画面サイズ切換 ... 52
画面表示 ... 25
画面メモ ... 25
かんたん設定 ... 13
ガンマ補正 ... 41
キーワード検索 ... 18
緊急警報放送 ... 55
クリアボイス ... 43
黒補正 ... 41
ケーブルテレビ ... 54
降雨対応放送 ... 55
高音 ... 43
光源用ランプの交換 ... 74
高地モード ... 49
購入概算額 ... 23
ゴースト・リダクション ... 59
コピーコントロール ... 57
コピープロテクション ... 57
コンバーター電源 ... 66

さ行

サイレンススタート ... 48
サラウンド ... 43
シームレス選局 ... 26
時間指定予約 ... 30
時刻情報取得 ... 12, 25, 46
時刻別番組表 ... 16
自己診断表示 ... 58
視聴年齢制限 ... 17
実行履歴一覧 ... 35
自動画調整 ... 52
シネマドライブ ... 41
字幕入 ... 44
字幕放送 ... 24
シミュレートステレオ ... 43
シャープネス ... 41
ジャンプ ... 24
ジャンル検索 ... 18
消音ポン ... 24
シンクロ録画 ... 29
垂直位置 ... 52
水平位置 ... 52
ズーム ... 44
スタンバイランプ ... 58
ステレオ ... 56
スピーカー ... 43, 56
スピーカー出力 ... 51
選局ゾーン ... 3
ソフトウェアキーボード ... 26

た行

ダイナミック（映像） ... 41
ダイナミック（音声） ... 43
タイマー ... 46
ダウンロード ... 71, 72
他チャンネルリスト ... 20
地上アナログ ... 12
地上デジタル ... 13, 54
チャンネル別番組表 ... 16
チャンネルポン ... 24
著作権保護 ... 57
通信/タイマー/ランプ ... 58, 71, 74
ツール ... 3
低音 ... 43
データ放送 ... 15, 23
デジタル放送（困ったときは） ... 63
デジタル放送からのメール ... 22
電源/録画・予約ランプ ... 31
電源スイッチ ... 80
展示モード ... 71
登録発呼 ... 23
時計表示 ... 25